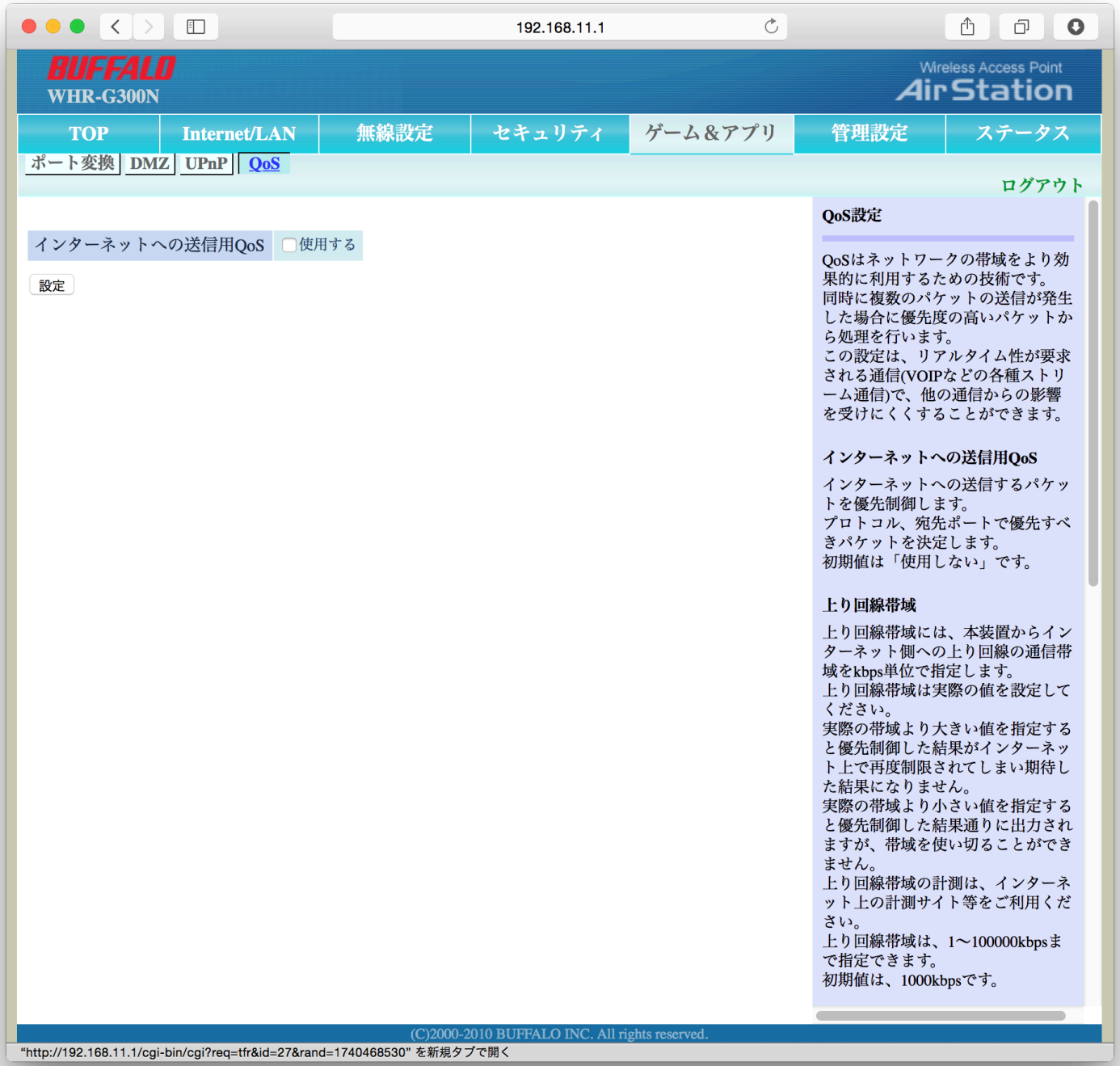
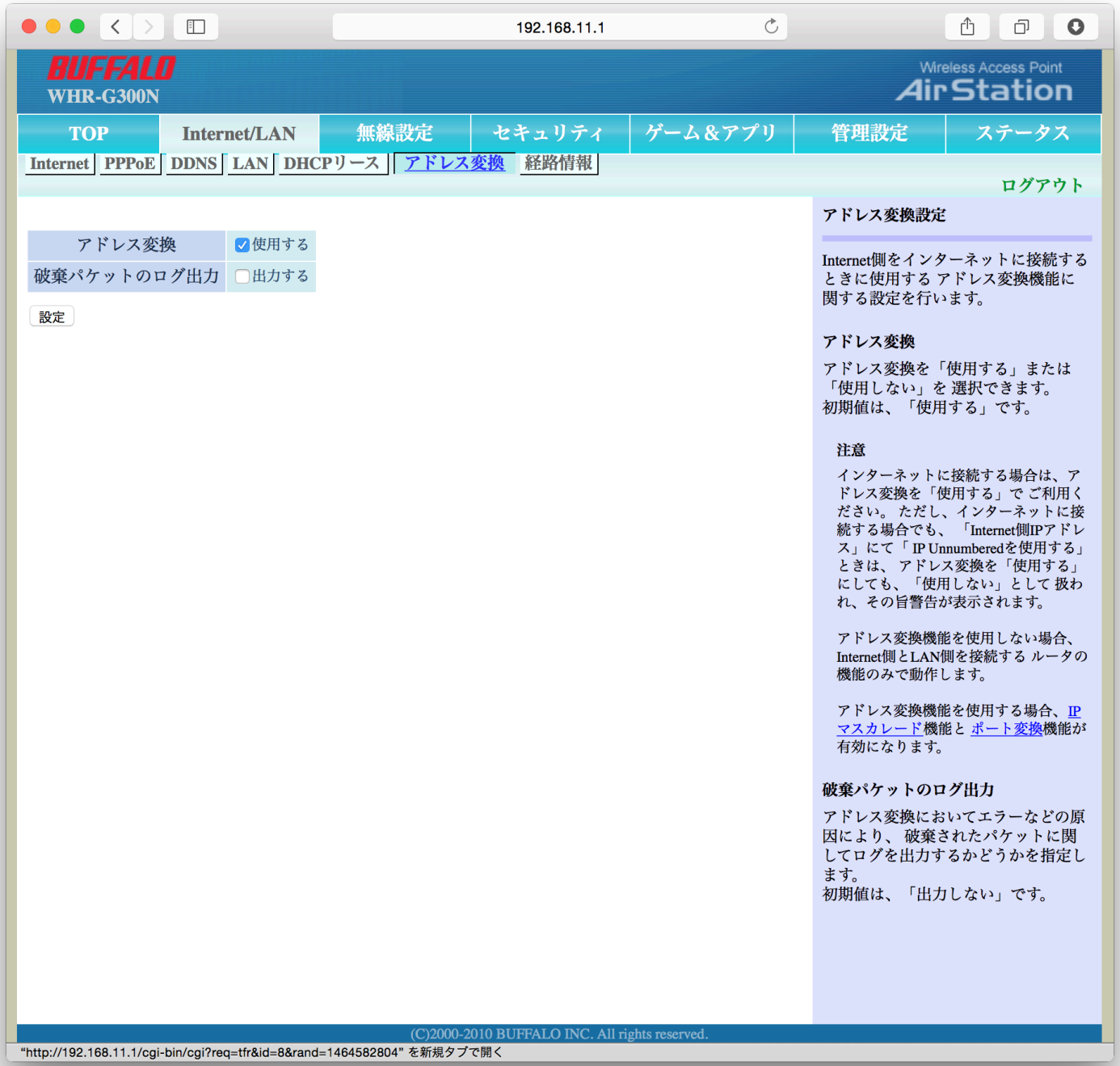

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
かんたん設定＆基本情報
ログアウト
かんたん設定
基本設定
インターネット接続を行う
11n倍速モード/無線の基本設定をする
無線の暗号化を設定する
インターネット
インターネット対応ゲームを使う
Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う
ブロードバンド放送を使う
その他
ファームウェアを更新する
設定を初期化する
■動作モード情報
ルータモードON
■Internet情報
(PPPoE接続)
3: ocn(デフォルト)
接続状態
通信中
停止
接続確認
現在の状態を表示
■無線情報
IEEE 802.11g (Auto / 1ch)
SSID
認証方式
WPA2-PSK
暗号化
AES
AOSS設定画面へ
WPS設定画面へ
かんたん設定＆基本情報
左側がかんたん設定。
右側がエアステーションの基本情報となります。
基本設定
インターネット接続を行う
Internet側の回線種別を探索し、インターネット接続が完了するまでの設定をします。
プロバイダから入手したパスワード等の資料がある場合は用意してください。
11n倍速モード/無線の基本設定をする
無線LANのSSIDとチャンネルの設定を行います。
無線の暗号化を設定をする
無線LANの暗号化(WEP/TKIP/AES)の設定を行います。
インターネット
インターネット対応ゲームを使う
インターネット対応ゲームを使うために、ポート変換の設定を行います。
Windows Live (MSN) メッセンジャーを使う
Windows Live (MSN) メッセンジャーを使うために、UPnP(Universal Plug and Play)のインターネットゲートウェイ機能の設定を行います。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

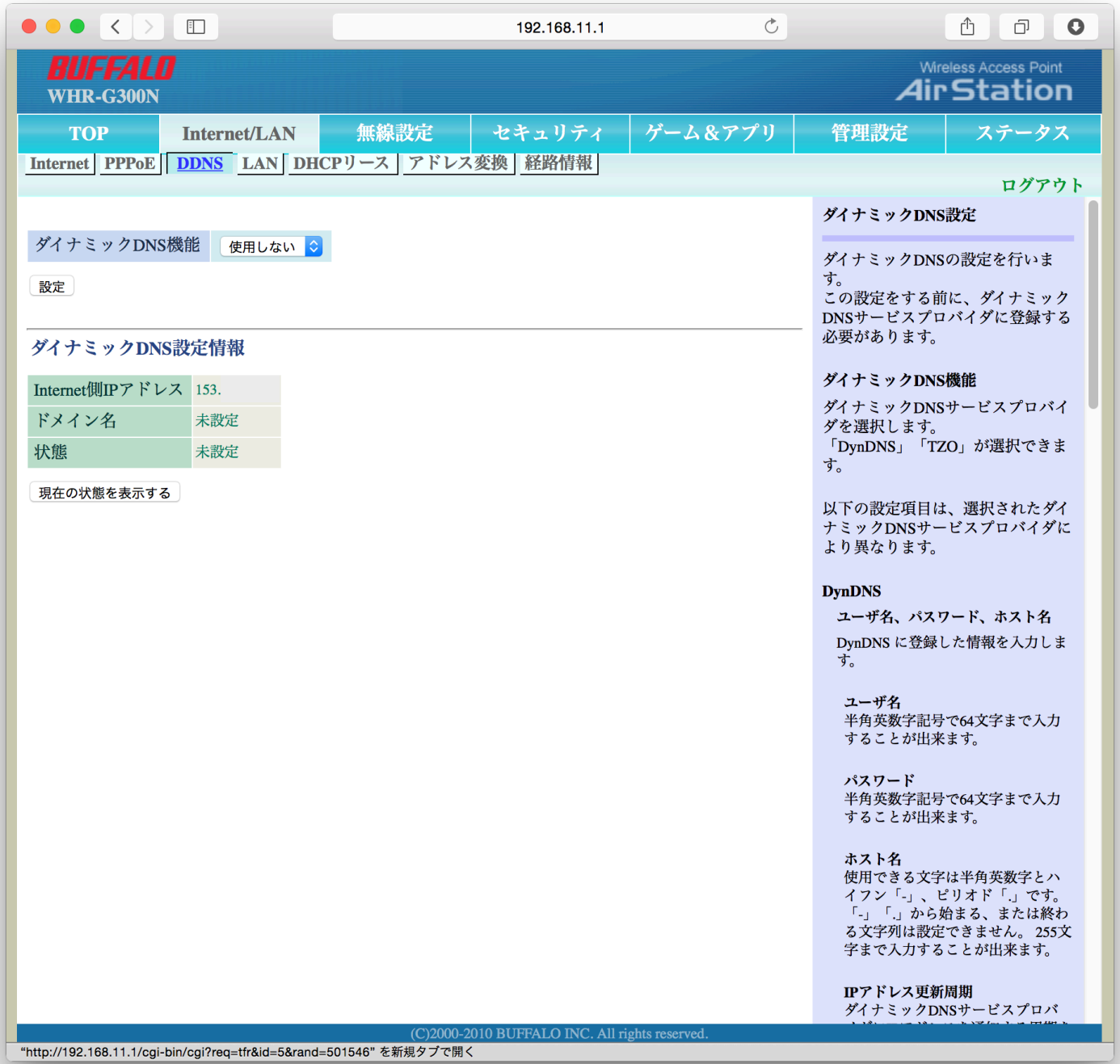

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ポート変換
DMZ
UPnP
QoS
ログアウト
DMZのアドレス
※WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス[192.168.11.2]
設定
DMZ設定
DMZのアドレス
LAN側からの通信と無関係な通信パケットを転送するLAN側のネットワーク機器のアドレスを指定します。
DMZの設定を行うことにより、LAN側のサーバを外部からアクセスすることができるようになります。 初期値は、空欄(未設定)です。
注意
RIPプロトコル(UDPポート番号 520)のパケットは、転送しません。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=26&rand=404378174” を新規タブで開く

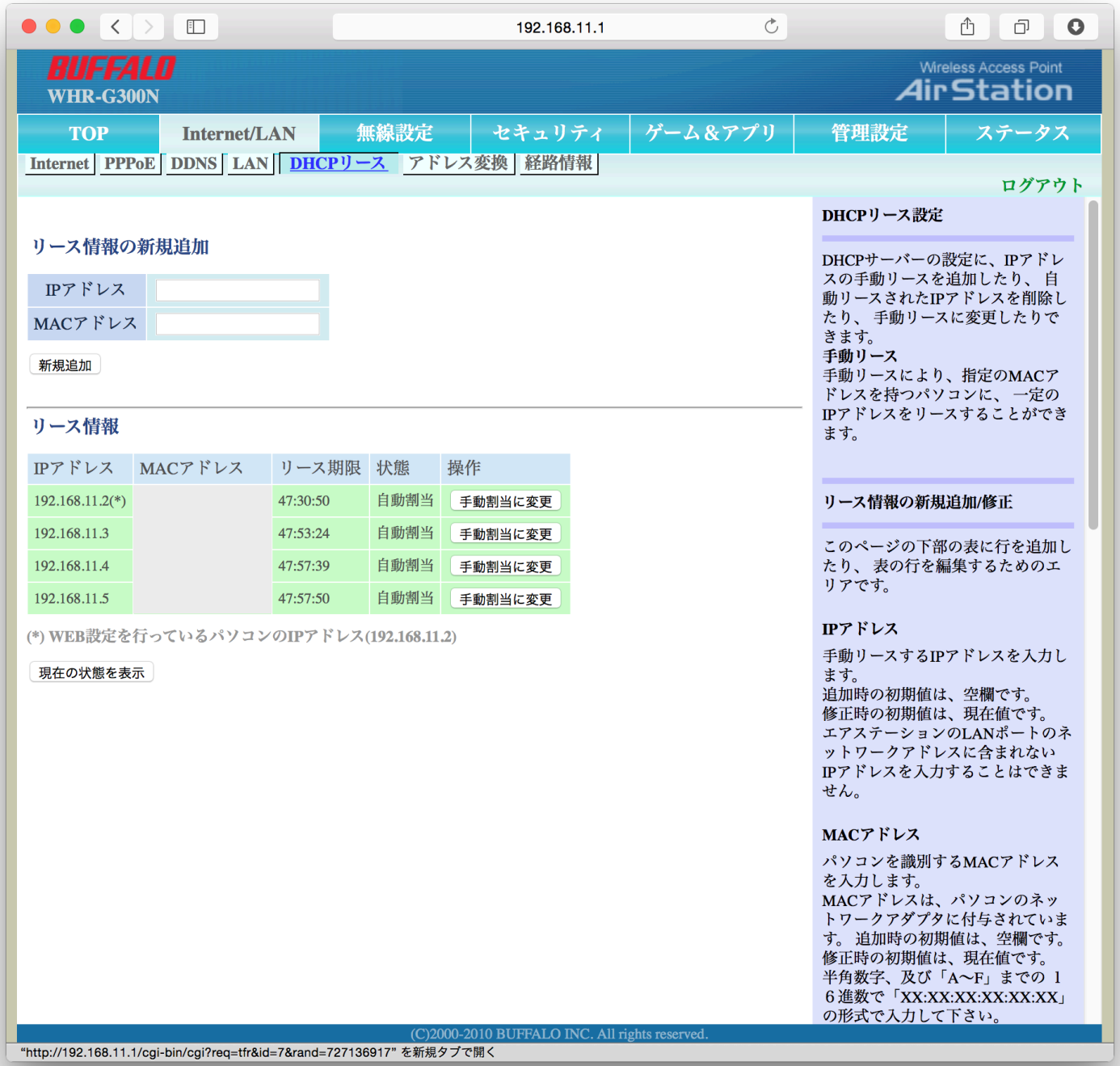

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ポート変換
DMZ
UPnP
QoS
ログアウト
ポート変換の新規追加
グループ
新規追加
新規追加:
Internet側IPアドレス
エアステーションのInternet側IPアドレス
手動設定:
プロトコル
全て
ICMP
任意
プロトコル番号:
TCP/UDP
任意のTCPポート
指定の仕方
任意のTCP/UDPポート:
LAN側IPアドレス
192.168.11.2
LAN側ポート
TCP/UDPポート:
新規追加
ポート変換登録情報
グループ
Internet側IPアドレス
LAN側IPアドレス
プロトコル
LAN側ポート
操作
アドレス変換設定は登録されていません
ポート変換設定
通常、エアステーションはLAN側から開始される通信のみについてアドレス変換 を行いますが、特定のアプリケーションやネットワークゲームなどでは、Internet側 から開始される通信を許可する(ポート変換)必要があります。ここでは、外部ネットワークから 開始される特定の通信をLAN側のネットワーク機器に転送するルール(ポート変換)の編集を行います。 登録情報の最大数は32です。
ポート変換の新規追加/修正
ポート変換の新規追加を行ったり、追加済みの情報を修正します。
グループ
設定したポート変換に名前(グループ名)を付けたり、また複数のポート変換に一つの名前を付け、 一括管理することができます。
グループ名を付けることによって、複数の設定の有効/無効をまとめて変更できるようになります。
既存のグループに ポート変換ルールを追加する場合は、リストの中から選択します。
新規にグループ名を付ける場合は、リストで[新規追加]を選択し、新たなグループ名を新規追加欄に入力します。
クループ名は半角英数字で16文字まで入力できます。 初期値は、「新規」で空欄です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ポート変換
DMZ
UPnP
QoS
ログアウト
インターネットへの送信用QoS
使用する
設定
QoS設定
QoSはネットワークの帯域をより効果的に利用するための技術です。
同時に複数のパケットの送信が発生した場合に優先度の高いパケットから処理を行います。
この設定は、リアルタイム性が要求される通信(VOIPなどの各種ストリーム通信)で、他の通信からの影響を受けにくくすることができます。
インターネットへの送信用QoS
インターネットへの送信するパケットを優先制御します。
プロトコル、宛先ポートで優先すべきパケットを決定します。
初期値は「使用しない」です。
上り回線帯域
上り回線帯域には、本装置からインターネット側への上り回線の通信帯域をkbps単位で指定します。
上り回線帯域は実際の値を設定してください。
実際の帯域より大きい値を指定すると優先制御した結果がインターネット上で再度制限されてしまい期待した結果になりません。
実際の帯域より小さい値を指定すると優先制御した結果通りに出力されますが、帯域を使い切ることができません。
上り回線帯域の計測は、インターネット上の計測サイト等をご利用ください。
上り回線帯域は、1〜100000kbpsまで指定できます。
初期値は、1000kbpsです。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=27&rand=1740468530” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ポート変換
DMZ
UPnP
QoS
ログアウト
UPnP機能
使用する
設定
UPnP設定
UPnP(Universal Plug and Play)のインターネットゲートウェイ機能 の設定を行います。
UPnP対応のWindowsXP等がインストールされたパソコンでは、 LAN上のエアステーションをインターネットゲートウェイとして 自動認識します。
さらに、WindowsXP上のUPnP対応ネットワークアプリケーションでは、ユーザに意識させることなく、 エアステーションのInternetポートの状態やプロバイダから取得したInternet側IPアドレスの情報等を取得したり、 ポート変換の設定を行うことができるため、 ユーザはポート変換の設定をする必要がなくなります。
UPnP機能
UPnP(Universal Plug and Play) を使用するかしないかについて設定します。
初期値は、「使用する」です。
注意
複数のPPPoE接続先を使用時、UPnP機能はデフォルトの PPPoE接続先を利用します。
UPnP対応ネットワークアプリケーションを使用するときは、 アプリケーションの接続先サーバがデフォルトの接続先から 通信可能であることを確認してください。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=26&rand=96050860” を新規タブで開く

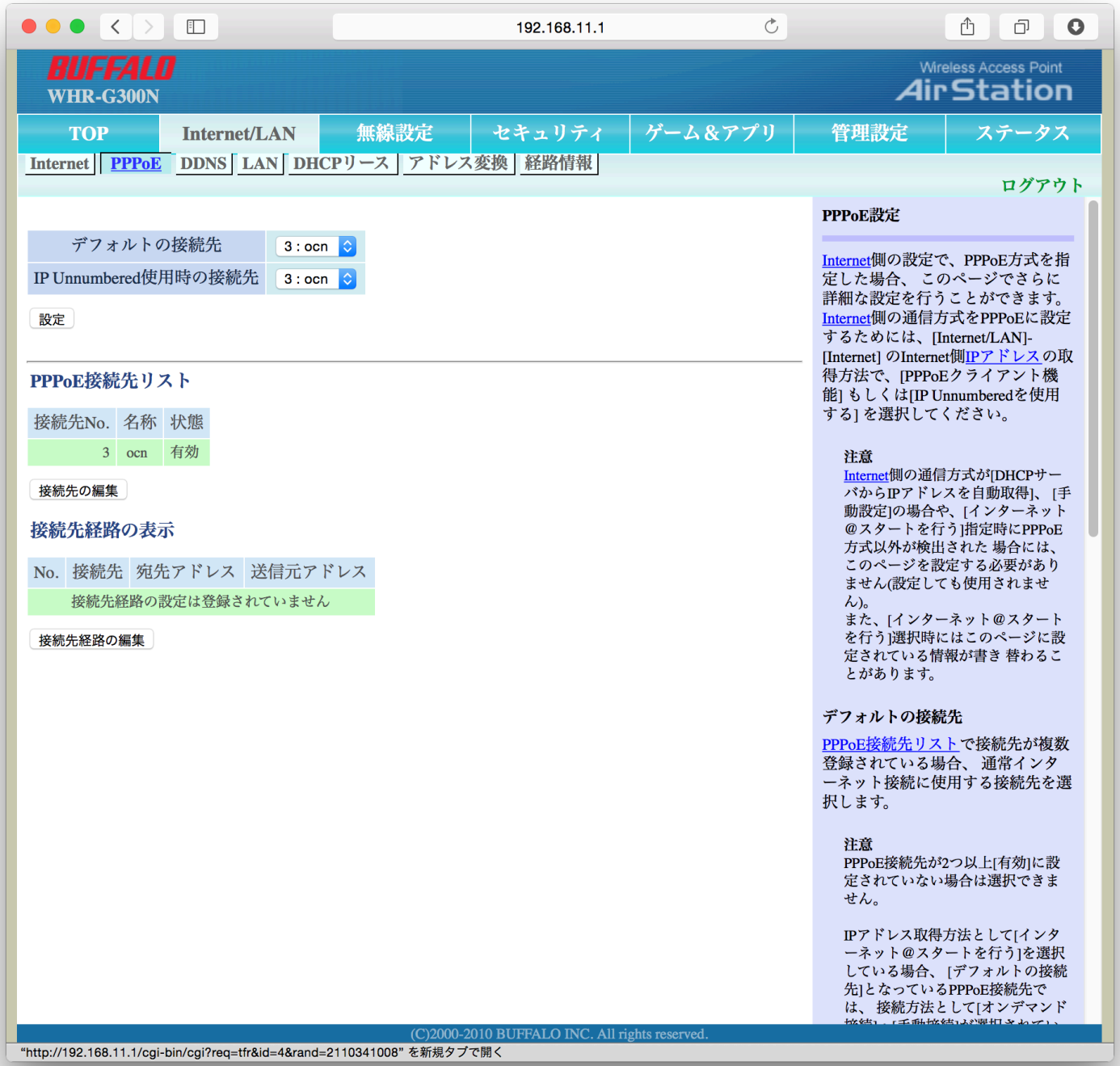

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
アドレス変換
使用する
破棄パケットのログ出力
出力する
設定
アドレス変換設定
Internet側をインターネットに接続するときに使用する アドレス変換機能に関する設定を行います。
アドレス変換
アドレス変換を「使用する」または「使用しない」を 選択できます。
初期値は、「使用する」です。
注意
インターネットに接続する場合は、アドレス変換を「使用する」で ご利用ください。 ただし、インターネットに接続する場合でも、「Internet側IPアドレス」にて「IP Unnumberedを使用する」ときは、 アドレス変換を「使用する」にしても、「使用しない」として 扱われ、その旨警告が表示されます。
アドレス変換機能を使用しない場合、Internet側とLAN側を接続する ルータの機能のみで動作します。
アドレス変換機能を使用する場合、IPマスカレード機能と ポート変換機能が有効になります。
破棄パケットのログ出力
アドレス変換においてエラーなどの原因により、 破棄されたパケットに関してログを出力するかどうかを指定します。
初期値は、「出力しない」です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=8&rand=1464582804” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
ダイナミックDNS機能
使用しない
設定
ダイナミックDNS設定情報
Internet側IPアドレス
153.
ドメイン名
未設定
状態
未設定
現在の状態を表示する
ダイナミックDNS設定
ダイナミックDNSの設定を行います。
この設定をする前に、ダイナミックDNSサービスプロバイダに登録する必要があります。
ダイナミックDNS機能
ダイナミックDNSサービスプロバイダを選択します。
「DynDNS」「TZO」が選択できます。
以下の設定項目は、選択されたダイナミックDNSサービスプロバイダにより異なります。
DynDNS
ユーザ名、パスワード、ホスト名
DynDNS に登録した情報を入力します。
ユーザ名
半角英数字記号で64文字まで入力することが出来ます。
パスワード
半角英数字記号で64文字まで入力することが出来ます。
ホスト名
使用できる文字は半角英数字とハイフン「-」、ピリオド「.」です。「-」「.」から始まる、または終わる文字列は設定できません。 255文字まで入力することが出来ます。
IPアドレス更新周期
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=5&rand=501546” を新規タブで開く

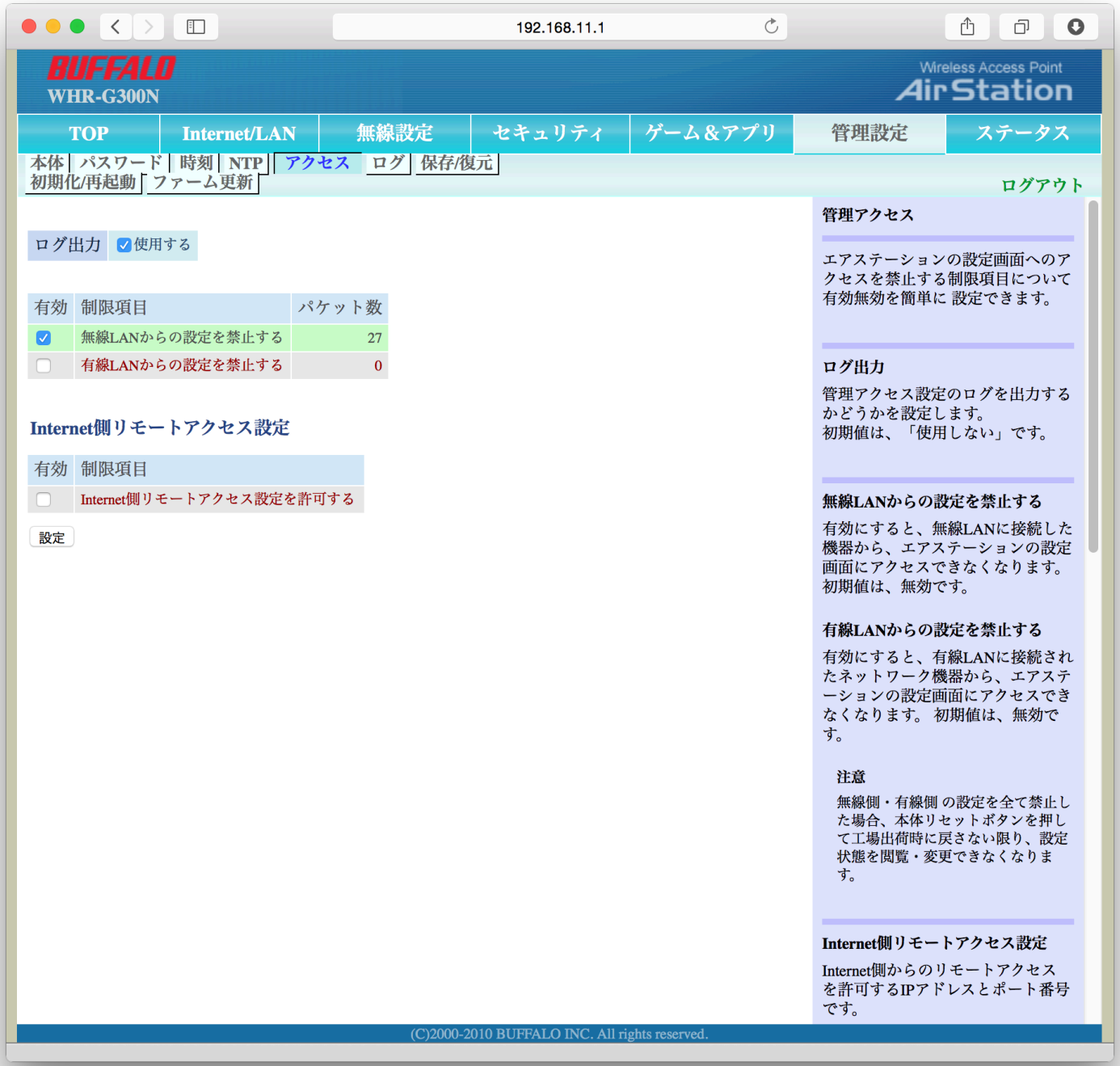

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
リース情報の新規追加
IPアドレス
MACアドレス
新規追加
リース情報
IPアドレス
MACアドレス
リース期限
状態
操作
192.168.11.2(*)
47:30:50
自動割当
手動割当に変更
192.168.11.3
47:53:24
自動割当
手動割当に変更
192.168.11.4
47:57:39
自動割当
手動割当に変更
192.168.11.5
47:57:50
自動割当
手動割当に変更
(*) WEB設定を行っているパソコンのIPアドレス(192.168.11.2)
現在の状態を表示
DHCPリース設定
DHCPサーバーの設定に、IPアドレスの手動リースを追加したり、 自動リースされたIPアドレスを削除したり、 手動リースに変更したりできます。
手動リース
手動リースにより、指定のMACアドレスを持つパソコンに、 一定のIPアドレスをリースすることができます。
リース情報の新規追加/修正
このページの下部の表に行を追加したり、 表の行を編集するためのエリアです。
IPアドレス
手動リースするIPアドレスを入力します。
追加時の初期値は、空欄です。
修正時の初期値は、現在値です。
エアステーションのLANポートのネットワークアドレスに含まれないIPアドレスを入力することはできません。
MACアドレス
パソコンを識別するMACアドレスを入力します。
MACアドレスは、パソコンのネットワークアダプタに付与されています。 追加時の初期値は、空欄です。
修正時の初期値は、現在値です。
半角数字、及び「A～F」までの 16進数で「XX:XX:XX:XX:XX:XX」の形式で入力して下さい。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=7&rand=727136917” を新規タブで開く

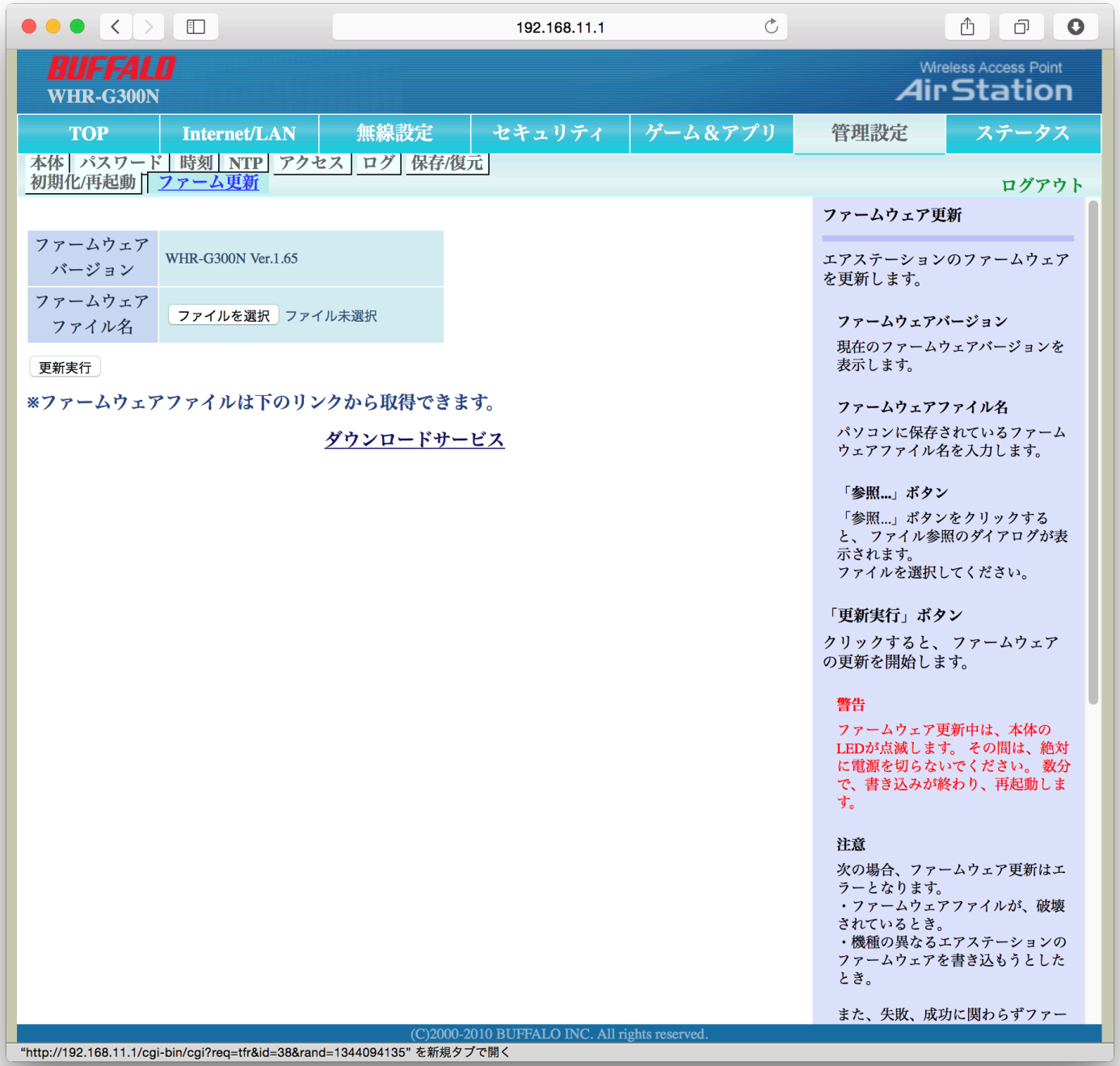

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
IPアドレス取得方法は「インターネット@スタートを行う」が設定されています。
※PPPoE接続先の設定はInternet/LAN設定 - PPPoE設定で行ってください
[拡張設定]
デフォルトゲートウェイ
DNS(ネーム)サーバアドレス
プライマリ: 221.
セカンダリ: 61.
Internet側MACアドレス
デフォルトのMACアドレスを使用( )
手動設定
Internet側有線の通信方式
SPEED 自動
Internet側MTU値
1500 バイト
設定
Internetポート設定
Internet側ポートの設定です。
通常Internet側ポートを、インターネットなど外部のネットワークへ接続します。
IPアドレス取得方法
Internet側IPアドレスの取得方法を指定します。
InternetポートにIPアドレスを指定する方法として、下記のいずれかを選択することができます。利用している回線がどの方式を採用しているかについては、ご契約のプロバイダへお問い合わせください。
よくわからない場合は、「インターネット@スタートを行う」を選択することをお すすめします。 現在のInternet側IPアドレスの取得状況は、システム情報ページで確 認できます。
インターネット@スタートを行う
「インターネット@スタートを行う」では、Internet側の回線種別を探索 し、インターネット接続が完了するまでの設定を自動的に行います。
注意
「インターネット@スタートを行う」の自動回線判別機能は、PPPoE,DHCPのいずれか の方式を採用している回線に対してのみ有効に機能します。それ以外の場 合は手動設定を選択し、プロバイダより通知された回線情報を入力し てください。
「インターネット@スタートを行う」は、フレッツ・スクウェアへの経路設定も自動的 に行う
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

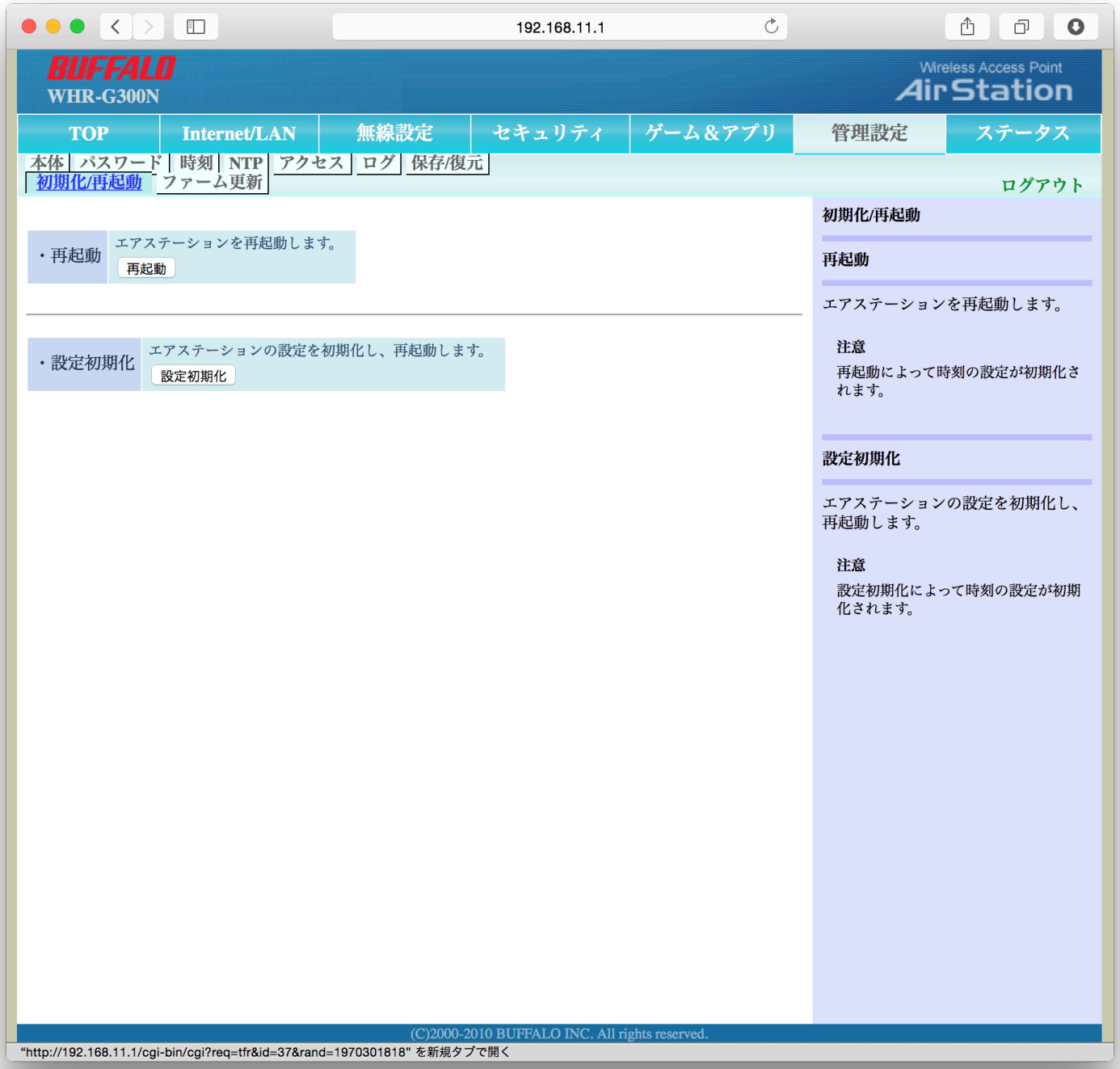

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
LAN側IPアドレス
IPアドレス
192.168.11.1
サブネットマスク
255.255.255.0
DHCPサーバ機能
使用する
割り当てIPアドレス
192.168.11.2
から
64
台
除外IPアドレス：
LAN側IPアドレス
(IP Unnumbered用)
IPアドレス
サブネットマスク
255.255.255.0
DHCPサーバ設定 [拡張設定]
拡張設定
表示する
設定
LANポート設定
エアステーションのLAN側のIPアドレス、サブネットマスクと DHCPサーバー機能の簡易設定を行います。このエアステーションを使用して初めてLANを導入する場合は、 初期値のままご使用になることをおすすめします。
注意
すでに構築済みのLANへエアステーションを追加する場合は、 設定を変更する必要があります。 方法は、こちらをご覧ください。
LAN側IPアドレス
エアステーションのLAN側IPアドレスを設定します。
初期値は、192.168.11.1です。
もし、すでに構築されたLANへエアステーションを追加するときは、他のネットワーク機器が使用していないIPアドレスを指定する必要があります。
サブネットマスク
エアステーションのLAN側サブネットマスクを選択します。
初期値は、255.255.255.0です。
もし、すでに構築されたLANへエアステーションを追加するときは、そのLANのサブネットマスクを指定する必要があります。
DHCPサーバ機能
DHCPサーバ機能を使用する・使用しないを指定します。
初期値は、[使用する]です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=6&rand=877801418” を新規タブで開く

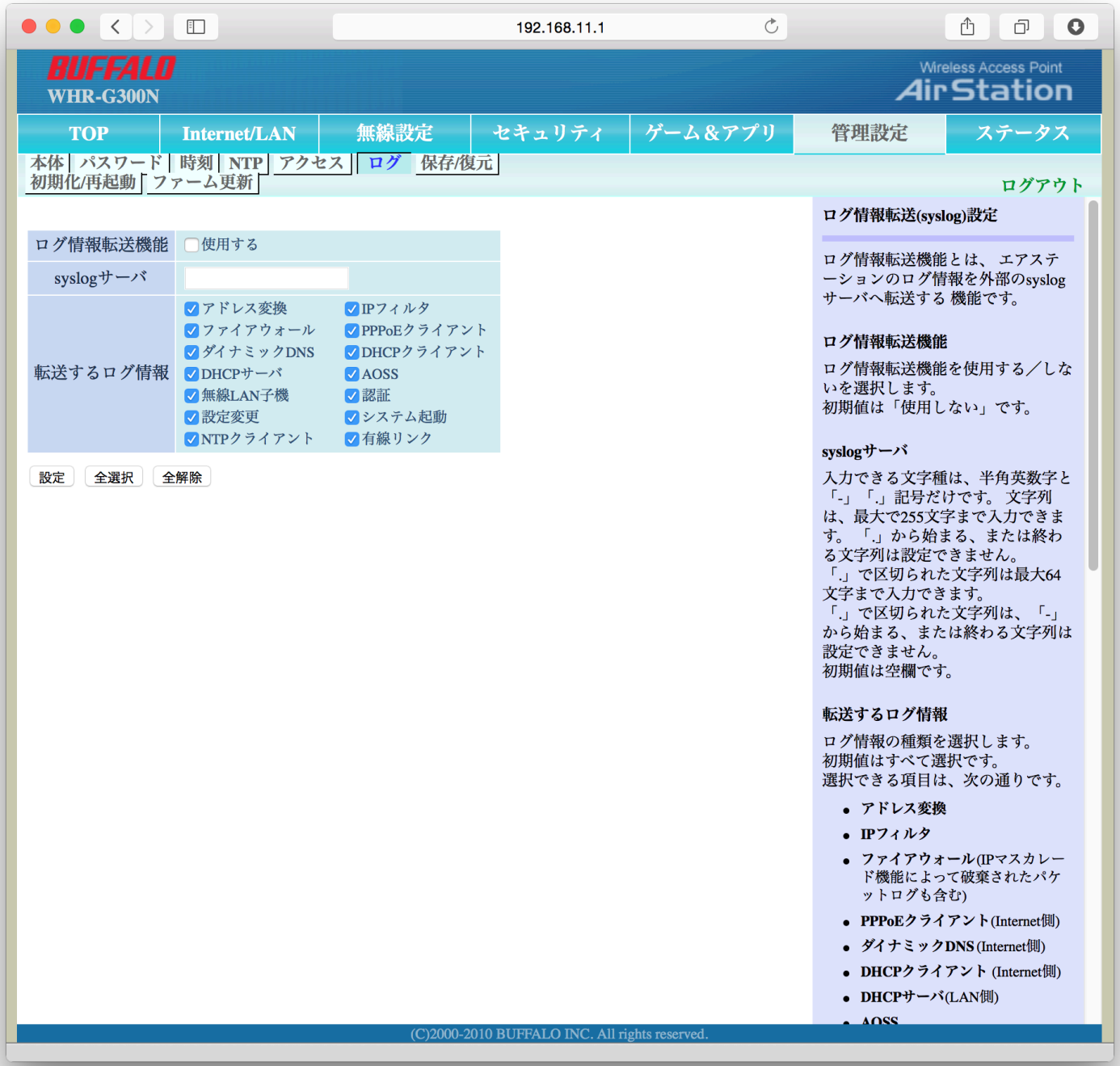

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
デフォルトの接続先
3 : ocn
IP Unnumbered使用時の接続先
3 : ocn
設定
PPPoE接続先リスト
接続先No.
名称
状態
3
ocn
有効
接続先の編集
接続先経路の表示
No.
接続先
宛先アドレス
送信元アドレス
接続先経路の設定は登録されていません
接続先経路の編集
PPPoE設定
Internet側の設定で、PPPoE方式を指定した場合、 このページでさらに詳細な設定を行うことができます。Internet側の通信方式をPPPoEに設定するためには、[Internet/LAN]-[Internet] のInternet側IPアドレスの取得方法で、[PPPoEクライアント機能] もしくは[IP Unnumberedを使用する] を選択してください。
注意
Internet側の通信方式が[DHCPサーバからIPアドレスを自動取得]、 [手動設定]の場合や、[インターネット@スタートを行う]指定時にPPPoE方式以外が検出された 場合には、このページを設定する必要がありません(設定しても使用されません)。
また、[インターネット@スタートを行う]選択時にはこのページに設定されている情報が書き 替わることがあります。
デフォルトの接続先
PPPoE接続先リストで接続先が複数登録されている場合、 通常インターネット接続に使用する接続先を選択します。
注意
PPPoE接続先が2つ以上[有効]に設定されていない場合は選択できません。
IPアドレス取得方法として[インターネット@スタートを行う]を選択している場合、 [デフォルトの接続先]となっているPPPoE接続先では、 接続方法として[オンデマンド
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=4&rand=2110341008” を新規タブで開く

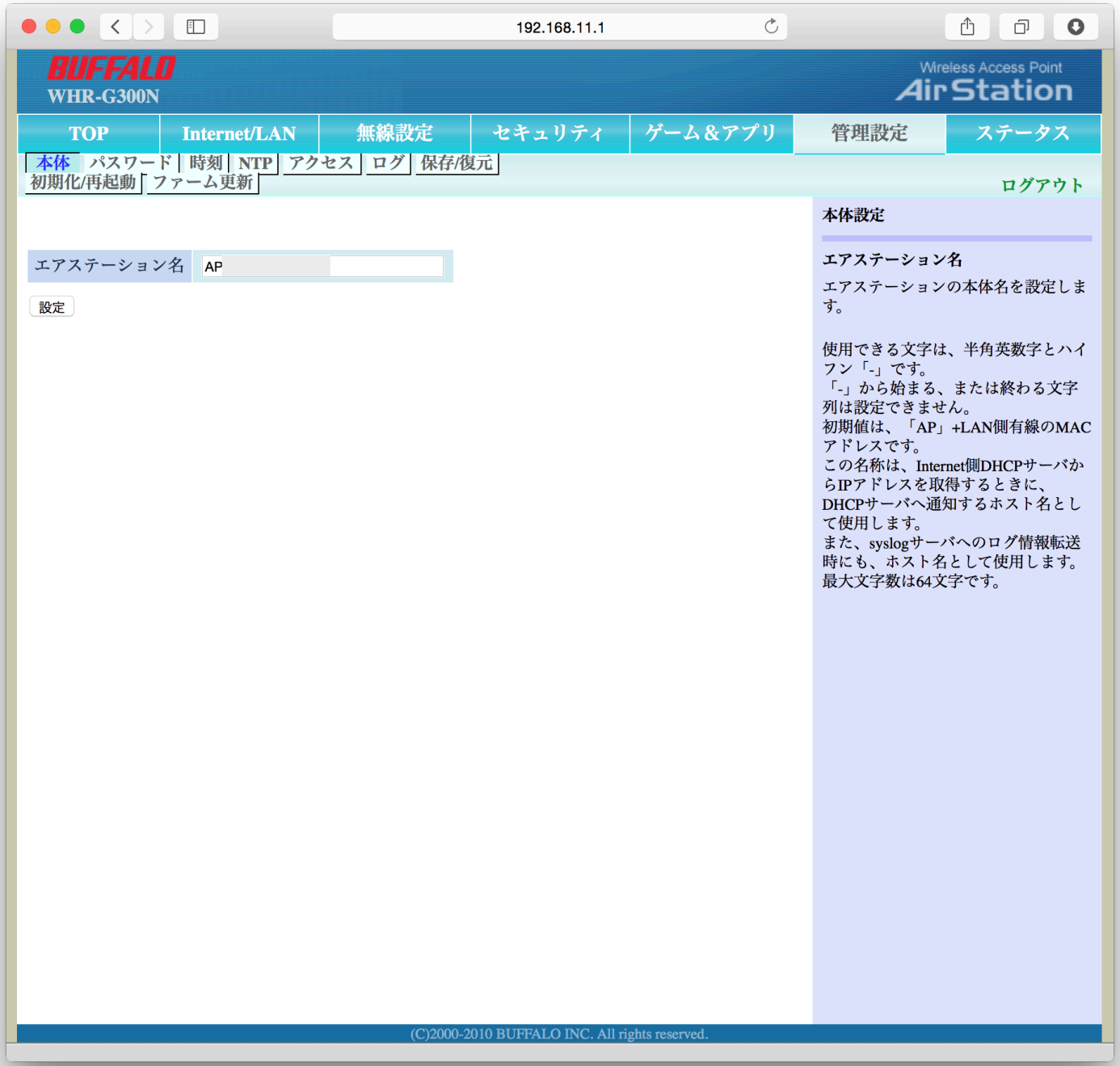

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
Internet
PPPoE
DDNS
LAN
DHCPリース
アドレス変換
経路情報
ログアウト
経路の新規追加
宛先アドレス
IPアドレス
サブネットマスク
255.255.255.0
ゲートウェイ
メトリック
15
新規追加
経路情報
宛先アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイ
メトリック
操作
経路情報はありません
経路情報設定
ルーティング情報の手動設定を行います
経路の新規追加/修正
このページの下部の表に行を追加したり、 表の行を編集するためのエリアです。
宛先アドレス
宛先のIPアドレスまたは、ネットワークアドレスを 指定します。
宛先が、IPアドレスのときは、サブネットマスクを 「ホスト 255.255.255.255」に指定します。 宛先が、ネットワークアドレスのときは、ネットワークアドレスと サブネットマスクを指定します。
ゲートウェイ
ゲートウェイのIPアドレスを指定します。
メトリック
宛先に到着するまでに通過するルータの数です。
入力は、1〜15まで可能です。 デフォルト値は、15です。
注意
メトリック値は必ずしも正確である必要はなく目安値でもデフォルト値でも動作は可能です。
宛先アドレスには、本体Internet側およびLAN側ネットワークに含まれる
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=9&rand=1574040035” を新規タブで開く

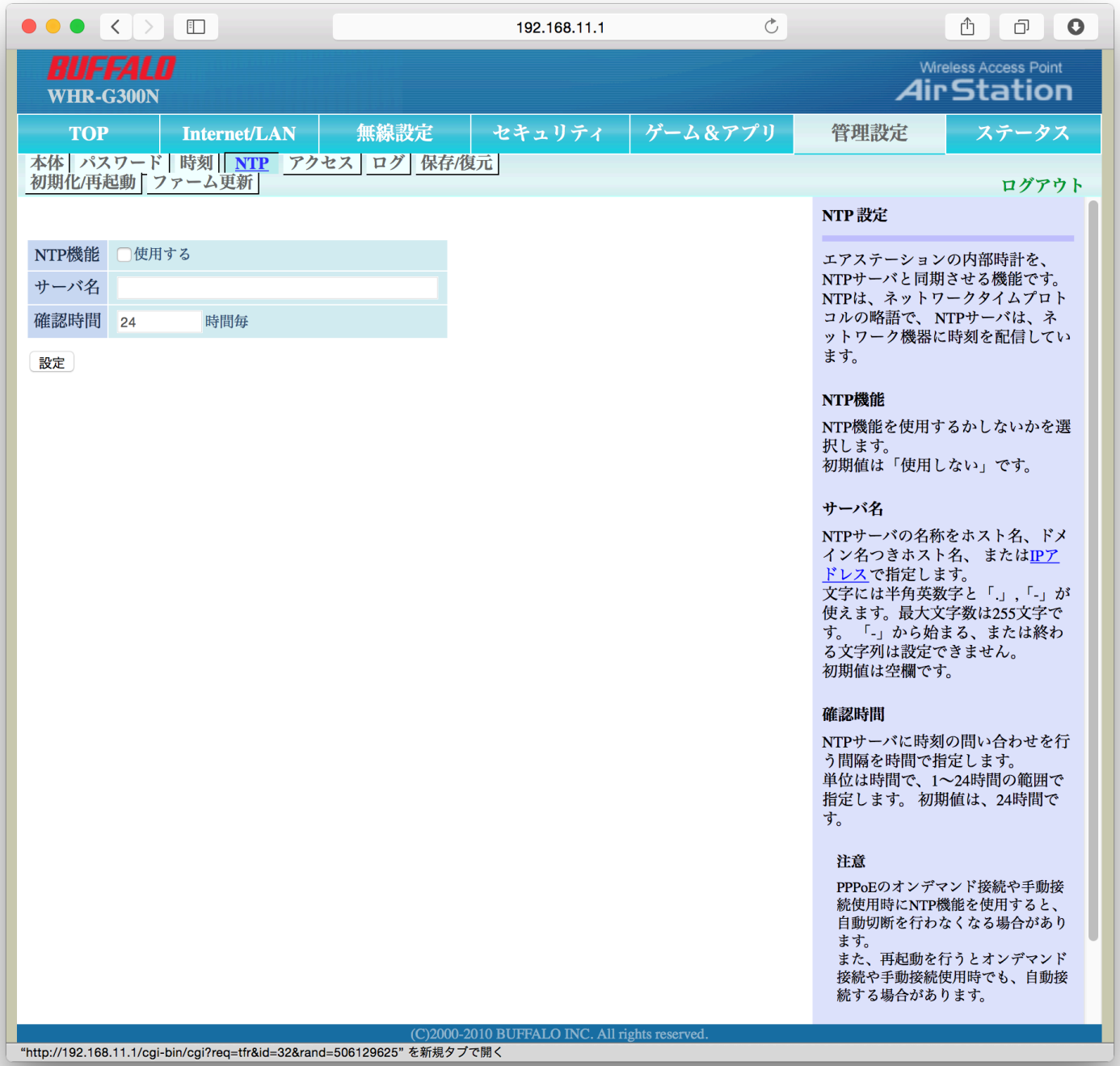

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
ログ出力
使用する
有効
制限項目
パケット数
無線LANからの設定を禁止する
27
有線LANからの設定を禁止する
0
Internet側リモートアクセス設定
有効
制限項目
Internet側リモートアクセス設定を許可する
設定
管理アクセス
エアステーションの設定画面へのアクセスを禁止する制限項目について有効無効を簡単に 設定できます。
ログ出力
管理アクセス設定のログを出力するかどうかを設定します。
初期値は、「使用しない」です。
無線LANからの設定を禁止する
有効にすると、無線LANに接続した機器から、エアステーションの設定画面にアクセスできなくなります。
初期値は、無効です。
有線LANからの設定を禁止する
有効にすると、有線LANに接続されたネットワーク機器から、エアステーションの設定画面にアクセスできなくなります。 初期値は、無効です。
注意
無線側・有線側 の設定を全て禁止した場合、本体リセットボタンを押して工場出荷時に戻さない限り、設定状態を閲覧・変更できなくなります。
Internet側リモートアクセス設定
Internet側からのリモートアクセスを許可するIPアドレスとポート番号です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

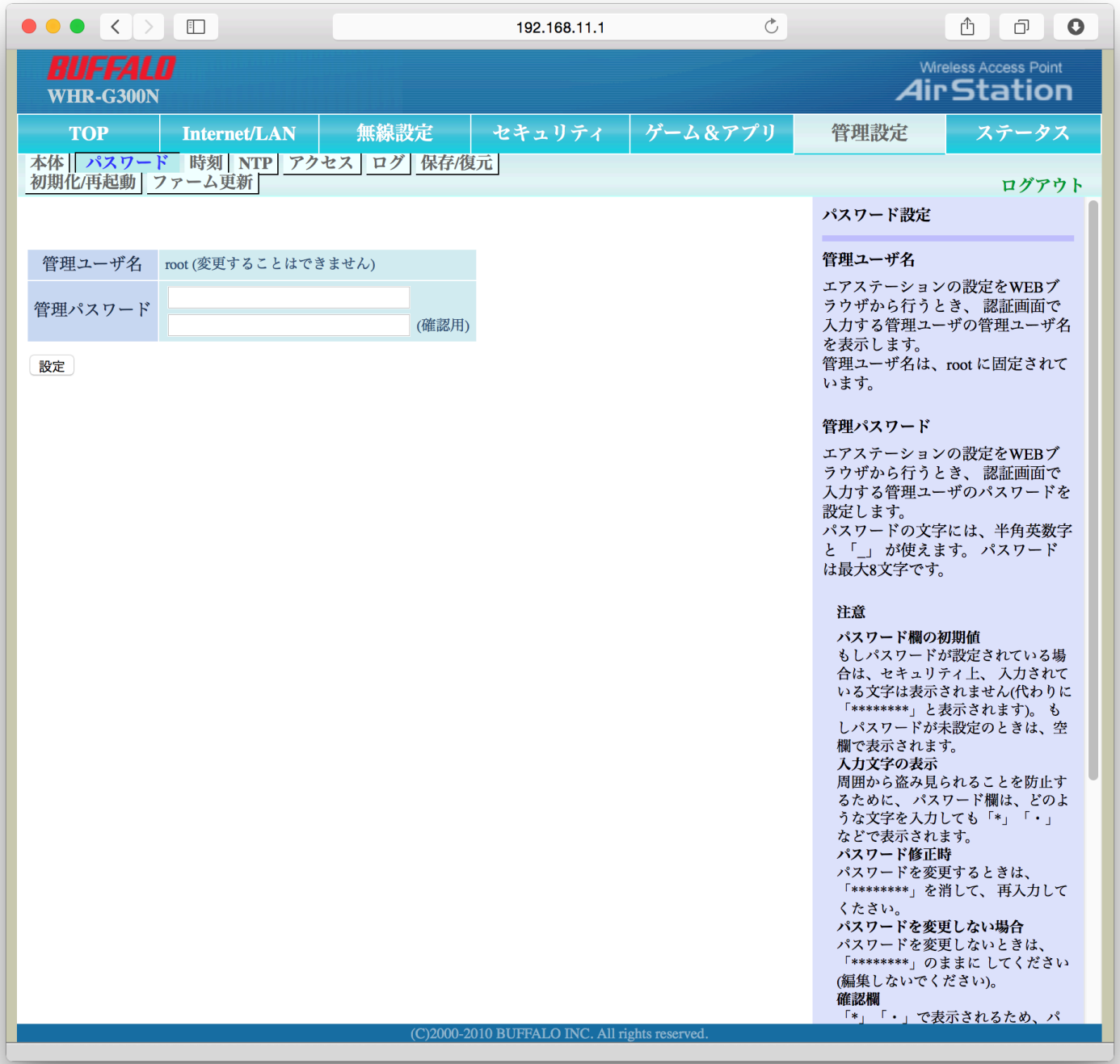

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
ファームウェアバージョン
WHR-G300N Ver.1.65
ファームウェアファイル名
ファイルを選択
ファイル未選択
更新実行
※ファームウェアファイルは下のリンクから取得できます。
ダウンロードサービス
ファームウェア更新
エアステーションのファームウェアを更新します。
ファームウェアバージョン
現在のファームウェアバージョンを表示します。
ファームウェアファイル名
パソコンに保存されているファームウェアファイル名を入力します。
「参照...」ボタン
「参照...」ボタンをクリックすると、ファイル参照のダイアログが表示されます。
ファイルを選択してください。
「更新実行」ボタン
クリックすると、ファームウェアの更新を開始します。
警告
ファームウェア更新中は、本体のLEDが点滅します。その間は、絶対に電源を切らないでください。数分で、書き込みが終わり、再起動します。
注意
次の場合、ファームウェア更新はエラーとなります。
・ファームウェアファイルが、破壊されているとき。
・機種の異なるエアステーションのファームウェアを書き込もうとしたとき。
また、失敗、成功に関わらずファー
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=38&rand=1344094135” を新規タブで開く

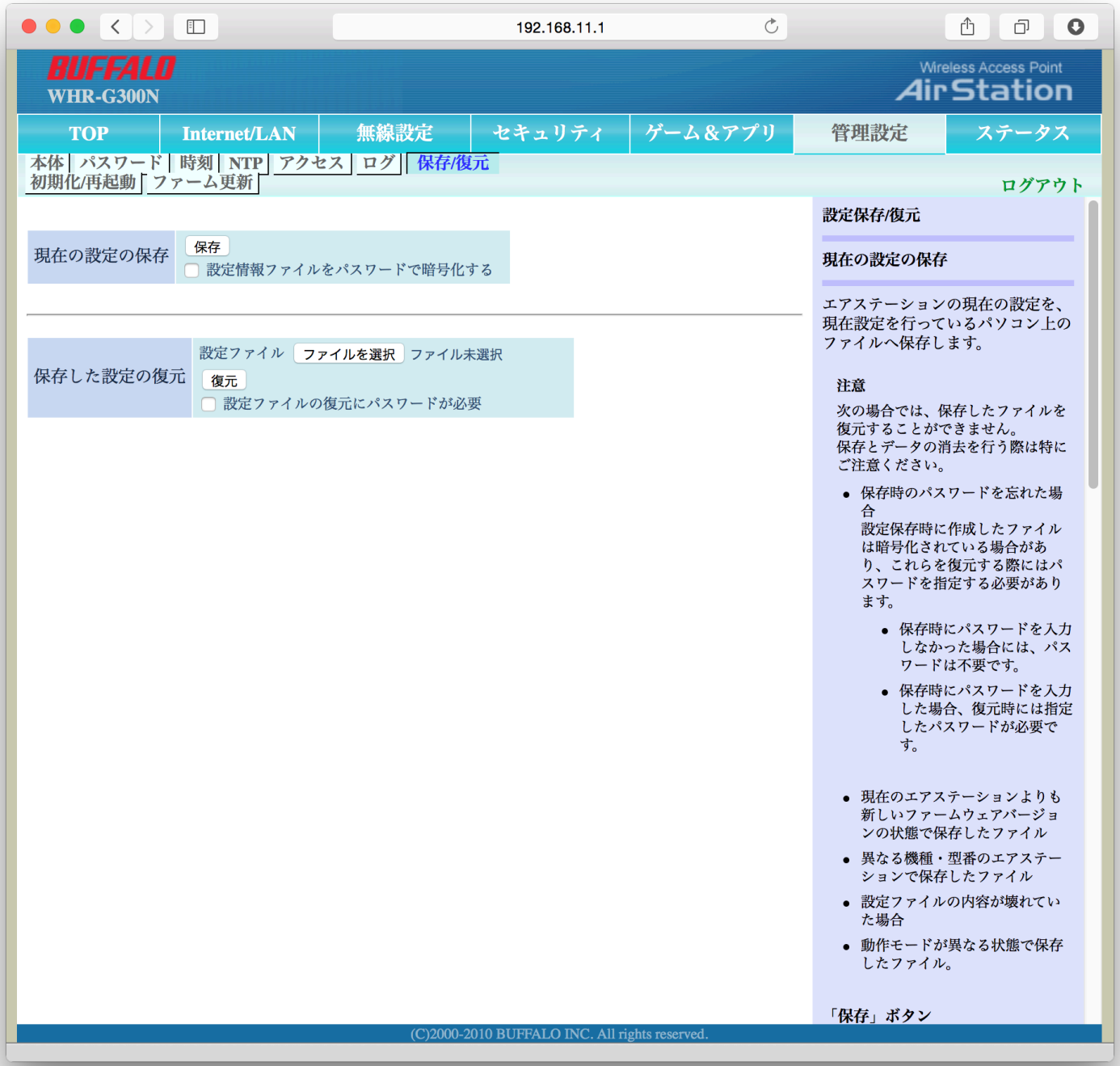

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
・再起動
エアステーションを再起動します。
再起動
・設定初期化
エアステーションの設定を初期化し、再起動します。
設定初期化
初期化/再起動
再起動
エアステーションを再起動します。
注意
再起動によって時刻の設定が初期化されます。
設定初期化
エアステーションの設定を初期化し、再起動します。
注意
設定初期化によって時刻の設定が初期化されます。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=37&rand=1970301818” を新規タブで開く

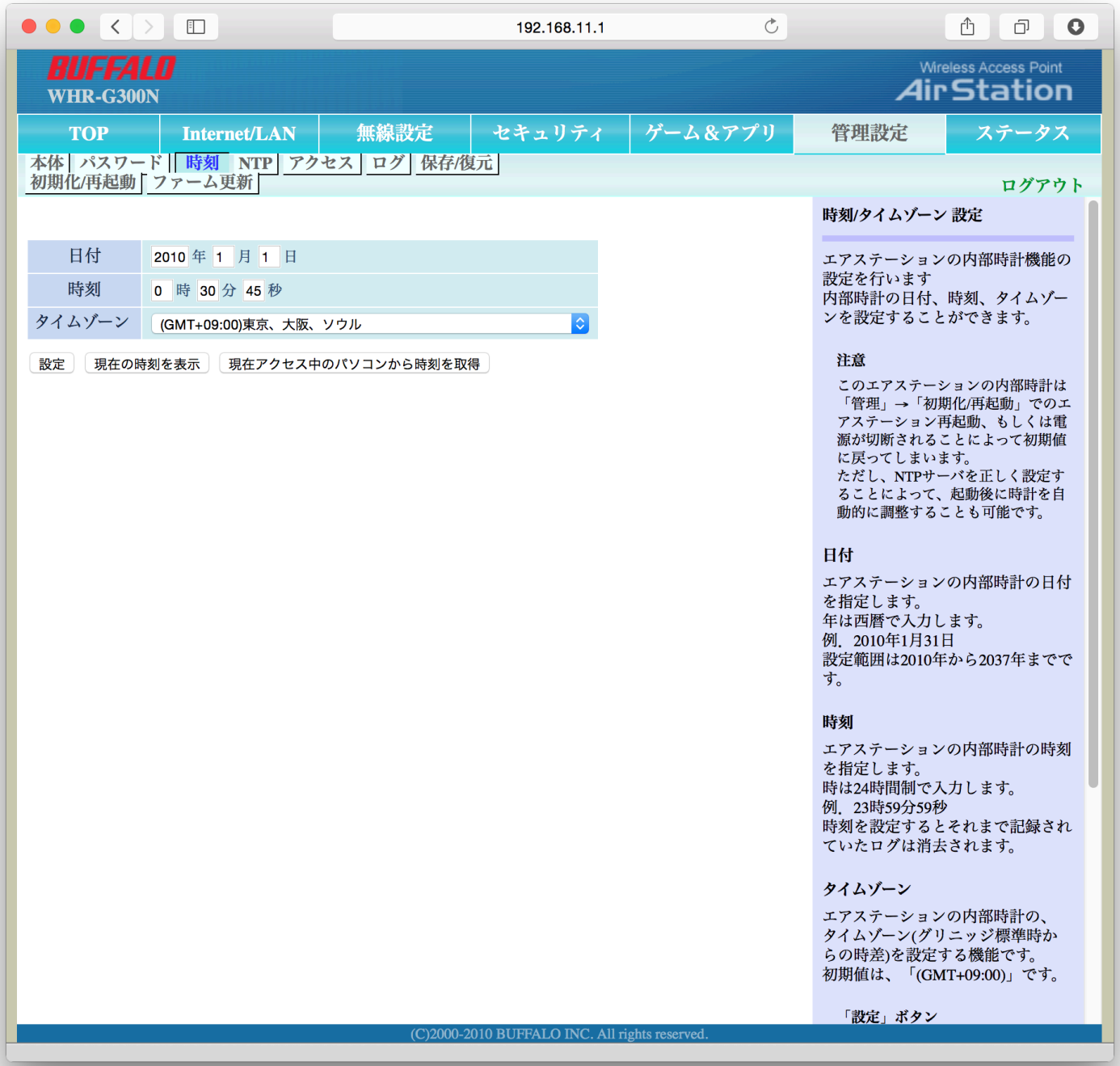

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
ログ情報転送機能
使用する
syslogサーバ
転送するログ情報
アドレス変換
IPフィルタ
ファイアウォール
PPPoEクライアント
ダイナミックDNS
DHCPクライアント
DHCPサーバ
AOSS
無線LAN子機
認証
設定変更
システム起動
NTPクライアント
有線リンク
設定
全選択
全解除
ログ情報転送(syslog)設定
ログ情報転送機能とは、エアステーションのログ情報を外部のsyslogサーバへ転送する 機能です。
ログ情報転送機能
ログ情報転送機能を使用する／しないを選択します。
初期値は「使用しない」です。
syslogサーバ
入力できる文字種は、半角英数字と「-」「.」記号だけです。 文字列は、最大で255文字まで入力できます。 「.」から始まる、または終わる文字列は設定できません。
「.」で区切られた文字列は最大64文字まで入力できます。
「.」で区切られた文字列は、「-」から始まる、または終わる文字列は設定できません。
初期値は空欄です。
転送するログ情報
ログ情報の種類を選択します。
初期値はすべて選択です。
選択できる項目は、次の通りです。
アドレス変換
IPフィルタ
ファイアウォール(IPマスカレード機能によって破棄されたパケットログも含む)
PPPoEクライアント(Internet側)
ダイナミックDNS(Internet側)
DHCPクライアント (Internet側)
DHCPサーバ(LAN側)
AOSS
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

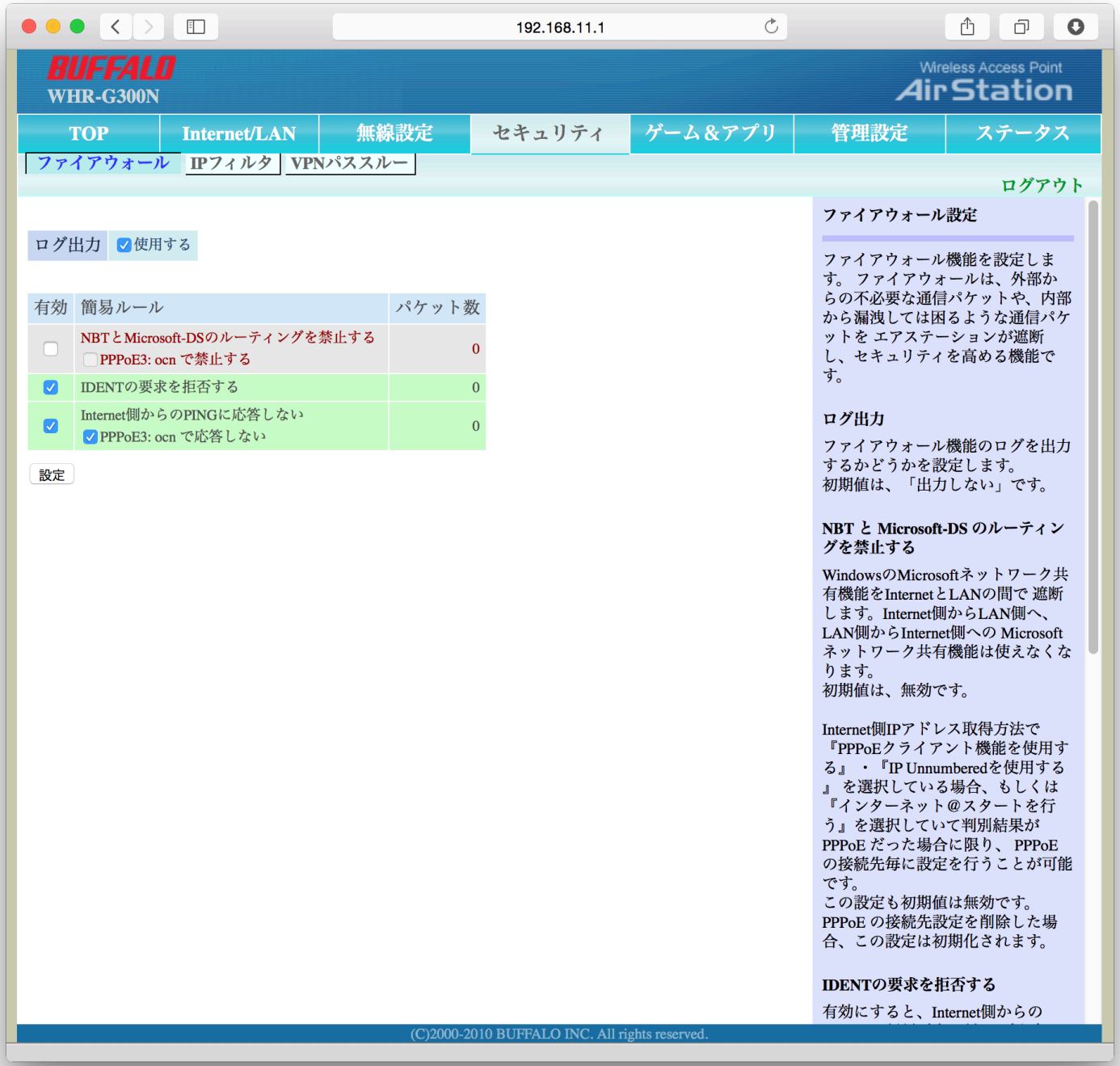

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
エアステーション名
AP
設定
本体設定
エアステーション名
エアステーションの本体名を設定します。
使用できる文字は、半角英数字とハイフン「-」です。
「-」から始まる、または終わる文字列は設定できません。
初期値は、「AP」+LAN側有線のMACアドレスです。
この名称は、Internet側DHCPサーバからIPアドレスを取得するときに、DHCPサーバへ通知するホスト名として使用します。
また、syslogサーバへのログ情報転送時にも、ホスト名として使用します。
最大文字数は64文字です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
NTP機能
使用する
サーバ名
確認時間
24
時間毎
設定
NTP 設定
エアステーションの内部時計を、NTPサーバと同期させる機能です。NTPは、ネットワークタイムプロトコルの略語で、 NTPサーバは、ネットワーク機器に時刻を配信しています。
NTP機能
NTP機能を使用するかしないかを選択します。
初期値は「使用しない」です。
サーバ名
NTPサーバの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、 またはIPアドレスで指定します。
文字には半角英数字と「.」,「-」が使えます。最大文字数は255文字です。 「-」から始まる、または終わる文字列は設定できません。
初期値は空欄です。
確認時間
NTPサーバに時刻の問い合わせを行う間隔を時間で指定します。
単位は時間で、1～24時間の範囲で指定します。 初期値は、24時間です。
注意
PPPoEのオンデマンド接続や手動接続使用時にNTP機能を使用すると、自動切断を行わなくなる場合があります。
また、再起動を行うとオンデマンド接続や手動接続使用時でも、自動接続する場合があります。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=32&rand=506129625” を新規タブで開く

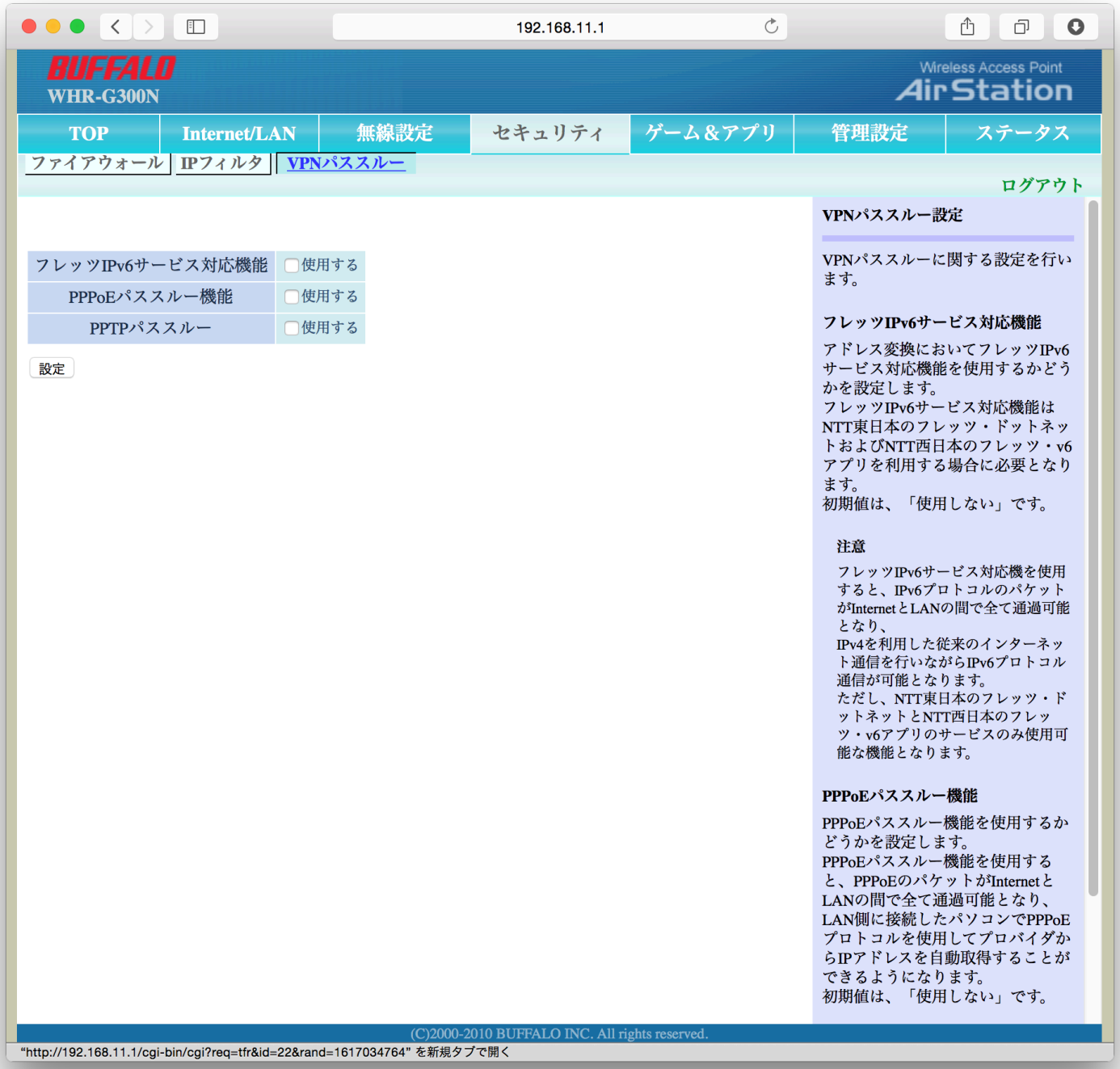

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
管理ユーザ名
root (変更することはできません)
管理パスワード
(確認用)
設定
パスワード設定
管理ユーザ名
エアステーションの設定をWEBブラウザから行うとき、認証画面で入力する管理ユーザの管理ユーザ名を表示します。
管理ユーザ名は、root に固定されています。
管理パスワード
エアステーションの設定をWEBブラウザから行うとき、認証画面で入力する管理ユーザのパスワードを設定します。
パスワードの文字には、半角英数字と「_」が使えます。パスワードは最大8文字です。
注意
パスワード欄の初期値
もしパスワードが設定されている場合は、セキュリティ上、入力されている文字は表示されません(代わりに「********」と表示されます)。もしパスワードが未設定のときは、空欄で表示されます。
入力文字の表示
周囲から盗み見られることを防止するために、パスワード欄は、どのような文字を入力しても「*」「・」などで表示されます。
パスワード修正時
パスワードを変更するときは、「********」を消して、再入力してください。
パスワードを変更しない場合
パスワードを変更しないときは、「********」のままにしてください(編集しないでください)。
確認欄
「*」「・」で表示されるため、パ
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
現在の設定の保存
保存
設定情報ファイルをパスワードで暗号化する
保存した設定の復元
設定ファイル
ファイルを選択
ファイル未選択
復元
設定ファイルの復元にパスワードが必要
設定保存/復元
現在の設定の保存
エアステーションの現在の設定を、現在設定を行っているパソコン上のファイルへ保存します。
注意
次の場合では、保存したファイルを復元することができません。
保存とデータの消去を行う際は特にご注意ください。
保存時のパスワードを忘れた場合
設定保存時に作成したファイルは暗号化されている場合があり、これらを復元する際にはパスワードを指定する必要があります。
保存時にパスワードを入力しなかった場合には、パスワードは不要です。
保存時にパスワードを入力した場合、復元時には指定したパスワードが必要です。
現在のエアステーションよりも新しいファームウェアバージョンの状態で保存したファイル
異なる機種・型番のエアステーションで保存したファイル
設定ファイルの内容が壊れていた場合
動作モードが異なる状態で保存したファイル。
「保存」ボタン
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
本体
パスワード
時刻
NTP
アクセス
ログ
保存/復元
初期化/再起動
ファーム更新
ログアウト
日付
2010 年 1 月 1 日
時刻
0 時 30 分 45 秒
タイムゾーン
(GMT+09:00)東京、大阪、ソウル
設定
現在の時刻を表示
現在アクセス中のパソコンから時刻を取得
時刻/タイムゾーン 設定
エアステーションの内部時計機能の設定を行います
内部時計の日付、時刻、タイムゾーンを設定することができます。
注意
このエアステーションの内部時計は「管理」→「初期化/再起動」でのエアステーション再起動、もしくは電源が切断されることによって初期値に戻ってしまいます。
ただし、NTPサーバを正しく設定することによって、起動後に時計を自動的に調整することも可能です。
日付
エアステーションの内部時計の日付を指定します。
年は西暦で入力します。
例．2010年1月31日
設定範囲は2010年から2037年までです。
時刻
エアステーションの内部時計の時刻を指定します。
時は24時間制で入力します。
例．23時59分59秒
時刻を設定するとそれまで記録されていたログは消去されます。
タイムゾーン
エアステーションの内部時計の、タイムゾーン(グリニッジ標準時からの時差)を設定する機能です。
初期値は、「(GMT+09:00)」です。
「設定」ボタン
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

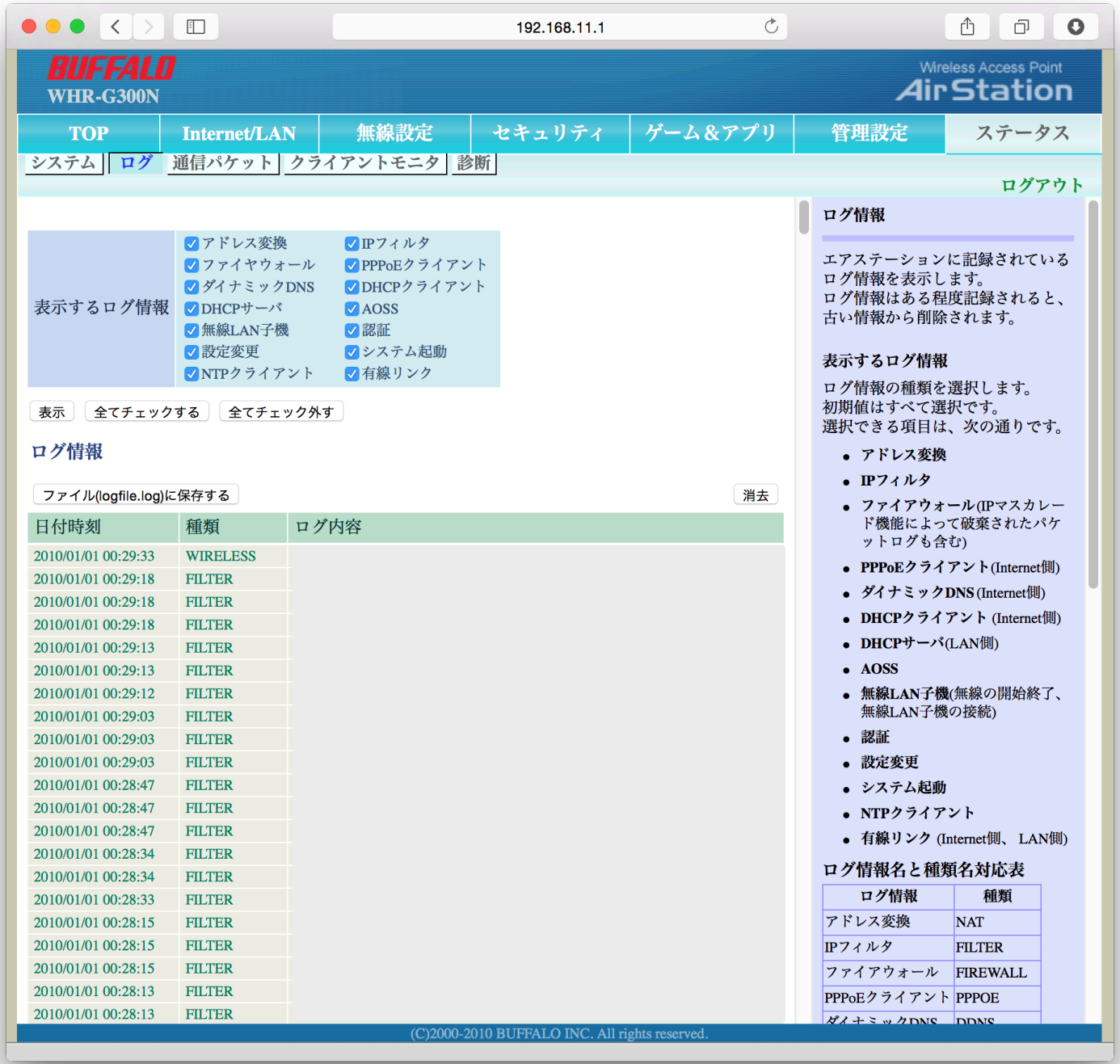

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ファイアウォール
IPフィルタ
VPNパススルー
ログアウト
ログ出力
使用する
有効
簡易ルール
パケット数
NBTとMicrosoft-DSのルーティングを禁止する
PPPoE3: ocn で禁止する
0
IDENTの要求を拒否する
0
Internet側からのPINGに応答しない
PPPoE3: ocn で応答しない
0
設定
ファイアウォール設定
ファイアウォール機能を設定します。 ファイアウォールは、外部からの不必要な通信パケットや、内部から漏洩しては困るような通信パケットを エアステーションが遮断し、セキュリティを高める機能です。
ログ出力
ファイアウォール機能のログを出力するかどうかを設定します。
初期値は、「出力しない」です。
NBT と Microsoft-DS のルーティングを禁止する
WindowsのMicrosoftネットワーク共有機能をInternetとLANの間で 遮断します。Internet側からLAN側へ、LAN側からInternet側への Microsoftネットワーク共有機能は使えなくなります。
初期値は、無効です。
Internet側IPアドレス取得方法で『PPPoEクライアント機能を使用する』・『IP Unnumberedを使用する』 を選択している場合、もしくは『インターネット@スタートを行う』を選択していて判別結果がPPPoE だった場合に限り、 PPPoEの接続先毎に設定を行うことが可能です。
この設定も初期値は無効です。
PPPoE の接続先設定を削除した場合、この設定は初期化されます。
IDENTの要求を拒否する
有効にすると、Internet側からの
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ファイアウォール
IPフィルタ
VPNパススルー
ログアウト
ログ出力
使用する
設定
IPフィルタの新規追加
動作
無視
方向
Internet→LAN
IPアドレス
送信元:
→宛先:
プロトコル
全て
ICMP
任意
プロトコル番号:
TCP/UDP
任意のTCPポート
指定の仕方
任意のTCP/UDPポート:
追加
IPフィルタ登録情報
動作
方向
送信元アドレス
宛先アドレス
プロトコル
パケット数
操作
IPフィルタは登録されていません
IPフィルタ設定
LAN側とInternet側の間で通過するパケットに関するIPフィルタの編集をおこないます。
最大登録数は、32個です。
先頭に登録したIPフィルタからパケットに合致するかどうか検査され、合致すると指定しておいた処理がされます。
ログ出力
IPフィルタ機能のログを出力するかどうかを設定します。
動作が「通過する」の場合は、ログ出力の対象外です。
初期値は、「出力しない」です。
IPフィルタの新規追加/修正
このページの下部の表に行を追加したり、表の行を編集するためのエリアです。
動作
対象となるパケットの処理方法を指定します。
無視
対象パケットは、無視され、破棄され、通過させられません。
拒否
対象パケットは、無視され、破棄され、通過させられません。
さらに送信元のパソコンへ拒否パケットが送られます。
通過
対象パケットは、通過させられます。
初期値は、「無視する」です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=21&rand=1633383309” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
ファイアウォール
IPフィルタ
VPNパススルー
ログアウト
フレッツIPv6サービス対応機能
使用する
PPPoEパススルー機能
使用する
PPTPパススルー
使用する
設定
VPNパススルー設定
VPNパススルーに関する設定を行います。
フレッツIPv6サービス対応機能
アドレス変換においてフレッツIPv6サービス対応機能を使用するかどうかを設定します。
フレッツIPv6サービス対応機能はNTT東日本のフレッツ・ドットネットおよびNTT西日本のフレッツ・v6アプリを利用する場合に必要となります。
初期値は、「使用しない」です。
注意
フレッツIPv6サービス対応機を使用すると、IPv6プロトコルのパケットがInternetとLANの間で全て通過可能となり、
IPv4を利用した従来のインターネット通信を行いながらIPv6プロトコル通信が可能となります。
ただし、NTT東日本のフレッツ・ドットネットとNTT西日本のフレッツ・v6アプリのサービスのみ使用可能な機能となります。
PPPoEパススルー機能
PPPoEパススルー機能を使用するかどうかを設定します。
PPPoEパススルー機能を使用すると、PPPoEのパケットがInternetとLANの間で全て通過可能となり、
LAN側に接続したパソコンでPPPoEプロトコルを使用してプロバイダからIPアドレスを自動取得することができるようになります。
初期値は、「使用しない」です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=22&rand=1617034764” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
システム
ログ
通信パケット
クライアントモニタ
診断
ログアウト
MACアドレス
リースIPアドレス
ホスト名
通信方式
無線認証
802.11n
SSID
192.168.11.2
Rhodos
有線
-
-
-
192.168.11.4
IRKit0707
無線
認証済み
無効
192.168.11.5
無線
認証済み
無効
現在の状態を表示
クライアントモニタ
エアステーションと通信をしているLAN側のネットワーク装置 の情報を表示します。
各表示項目には以下のような情報が表示されます。
MACアドレス
エアステーションと通信をしているLAN側のネットワーク装置のMACアドレスです。
リースIPアドレス
エアステーションと通信をしているLAN側のネットワーク装置へエアステーションのDHCPサーバがリースしたIPアドレスです。
LAN側のネットワーク装置が固定IPアドレスで動作しているときは、この表に表示されません。
ホスト名
エアステーションと通信をしているLAN側のネットワーク装置のホスト名です。 エアステーションのDHCPサーバからIPアドレスをリースされた装置のみ表示されます。
LAN側のネットワーク装置が固定IPアドレスで動作しているときは、この表に表示されません。
通信方式
エアステーションと通信をしているLAN側のネットワーク装置が無線LANを使用しているか有線LANを使用しているかを示します。
「無線」または「有線」と表示されます。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=43&rand=1670935399” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
システム
ログ
通信パケット
クライアントモニタ
診断
ログアウト
宛先アドレス
実行
実行結果
宛先
未入力
実行結果
未実行
診断(ping)
エアステーションからpingテストを行えます。
pingテストによりネットワーク装置とのIPプロトコルによる通信が可能かどうか判断できます。
宛先アドレス
pingを送信するネットワーク装置のIPアドレスもしくはDNS解決可能なホスト名を入力してください。
文字には半角英数字と「.」,「-」が使えます。最大文字数は255文字です。
ただし、「.」から始まる、または終わる文字列は設定できません。
「.」で区切られた文字列は最大64文字まで入力できます。
「.」で区切られた文字列は、「-」から始まる、または終わる文字列は設定できません。
「実行」ボタン
「実行」ボタンをクリックするとpingテストを実行します。
実行結果
pingテストの実行結果です。
送信への応答があれば成功です。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=44&rand=2122112116” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
システム
ログ
通信パケット
クライアントモニタ
診断
ログアウト
表示するログ情報
アドレス変換
IPフィルタ
ファイヤウォール
PPPoEクライアント
ダイナミックDNS
DHCPクライアント
DHCPサーバ
AOSS
無線LAN子機
認証
設定変更
システム起動
NTPクライアント
有線リンク
表示
全てチェックする
全てチェック外す
ログ情報
ファイル(logfile.log)に保存する
消去
日付時刻
種類
ログ内容
2010/01/01 00:29:33 WIRELESS
2010/01/01 00:29:18 FILTER
2010/01/01 00:29:18 FILTER
2010/01/01 00:29:18 FILTER
2010/01/01 00:29:13 FILTER
2010/01/01 00:29:13 FILTER
2010/01/01 00:29:12 FILTER
2010/01/01 00:29:03 FILTER
2010/01/01 00:29:03 FILTER
2010/01/01 00:29:03 FILTER
2010/01/01 00:28:47 FILTER
2010/01/01 00:28:47 FILTER
2010/01/01 00:28:47 FILTER
2010/01/01 00:28:34 FILTER
2010/01/01 00:28:34 FILTER
2010/01/01 00:28:33 FILTER
2010/01/01 00:28:15 FILTER
2010/01/01 00:28:15 FILTER
2010/01/01 00:28:15 FILTER
2010/01/01 00:28:13 FILTER
2010/01/01 00:28:13 FILTER
ログ情報
エアステーションに記録されているログ情報を表示します。
ログ情報はある程度記録されると、古い情報から削除されます。
表示するログ情報
ログ情報の種類を選択します。
初期値はすべて選択です。
選択できる項目は、次の通りです。
アドレス変換
IPフィルタ
ファイアウォール(IPマスカレード機能によって破棄されたパケットログも含む)
PPPoEクライアント(Internet側)
ダイナミックDNS(Internet側)
DHCPクライアント (Internet側)
DHCPサーバ(LAN側)
AOSS
無線LAN子機(無線の開始終了、無線LAN子機の接続)
認証
設定変更
システム起動
NTPクライアント
有線リンク (Internet側、 LAN側)
ログ情報名と種類名対応表
ログ情報
種類
アドレス変換
NAT
IPフィルタ
FILTER
ファイアウォール
FIREWALL
PPPoEクライアント
PPPOE
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
システム
ログ
通信パケット
クライアントモニタ
診断
ログアウト
インターフェース
送信パケット数
受信パケット数
正常
エラー
正常
エラー
LAN側有線
22603
0
23377
0
Internet側有線
4026
0
3701
0
LAN側無線(802.11g)
4681
0
3205
0
PPPoE No.3:
ocn
2942
0
2688
0
現在の状態を表示
通信パケット情報
エアステーションが通信したパケット数の合計を表示します。
送信と受信について、通信パケット数とエラーパケット数を表示します。
「現在の情報を表示」ボタン
「現在の情報を表示」ボタンをクリックすると 表示内容を更新します。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=42&rand=823567713” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
システム
ログ
通信パケット
クライアントモニタ
診断
ログアウト
製品名
WHR-G300N Ver.1.65 (R1.07/B1.09)
エアステーション名
AP
本体モード切り替えスイッチ状態
AUTOモード
動作モード
ルータモードON
Internet
IPアドレス取得方法
インターネット@スタートを行う - PPPoE接続
接続先
ocn (デフォルトの接続先)
接続状態
通信中
操作
停止
IPアドレス
153.
PPPサーバIP
118.
DNS1(プライマリ)
221.
(手動設定)
DNS2(セカンダリ)
61.
(手動設定)
DNS3
221.
(自動取得)
DNS4
61.
(自動取得)
MTU値
1454
有線リンク
100Base-TX (全二重)
MACアドレス
LAN
IPアドレス
192.168.11.1
サブネットマスク
255.255.255.0
DHCPサーバ
有効
MACアドレス
無線(802.11g)
無線状態
制限なし
SSID
認証方式
WPA2-PSK
暗号化
AES
ANY接続
許可する
プライバシーセパレータ
使用しない
無線チャンネル
1 チャンネル(自動設定)
倍速モード
20 MHz
システム情報
エアステーションの主な設定を一覧表示します。
製品名
製品名とファームウェアバージョンを表示します。
エアステーション名
エアステーション名を表示します。
動作モード
動作モードを表示します。
Internet
エアステーションInternetポートの情報です。
IPアドレス取得方法
InternetポートのIPアドレス取得方法です。
接続先
PPPoE設定時のみ表示されます。
PPPoE接続先の設定時につけた名称を表示します。
接続状態
DHCP,PPPoE設定時のみ表示されます。
接続に関する状態情報を表示します。
操作
DHCP,PPPoE設定時のみ表示されます。
DHCP設定時は、各ボタンを押すこ
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

192.168.11.1

BUFFALO
WHR-G300N

Wireless Access Point
AirStation

TOP | Internet/LAN | 無線設定 | セキュリティ | ゲーム＆アプリ | 管理設定 | ステータス

WPS | AOSS | 基本(11g) | 拡張(11g) | WMM(11g) | iPhone3G簡単接続(11g) | MACアクセス制限 | マルチキャスト制御

ログアウト



AOSS動作設定

WEP専用SSIDの暗号化レベル	802.11g AOSSを使用していません
暗号化レベル拡張機能	802.11g 有効
WEP専用SSID隔離	802.11g 無効 ※. ブリッジモードで本機能を有効にした場合も、WEPでの通信は隔離されます。 IPアドレスの取得・インターネット通信も遮断されますので、ご注意ください。
本体側AOSSボタン	使用する

設定

AOSS(AirStation One-Touch Secure System)設定

AOSSとは、セキュリティも含めた無線接続を簡単に行う株式会社バッファロー独自の機能です。
この画面では、AOSSの詳細な設定や状況を確認することができます。


[AOSS]ボタン

このボタンをクリックするとAOSS接続を開始します。
本体のAOSSボタンを押した時と同じ動作となります。
動作は、AOSSの使い方を参照してください。


[AOSS削除]ボタン

AOSSが有効になっている場合に表示されます。
このボタンをクリックするとAOSS状態を解除します。
それまで接続していた無線LAN装置との接続は切れてしまい、 AOSS接続先情報も消去されます。
AOSS動作設定の「暗号化レベル」とAOSSの「現在のセキュリティ情報」も消去されます。
手動設定の「無線基本/無線セキュリティ」設定は、 再び有効になります。

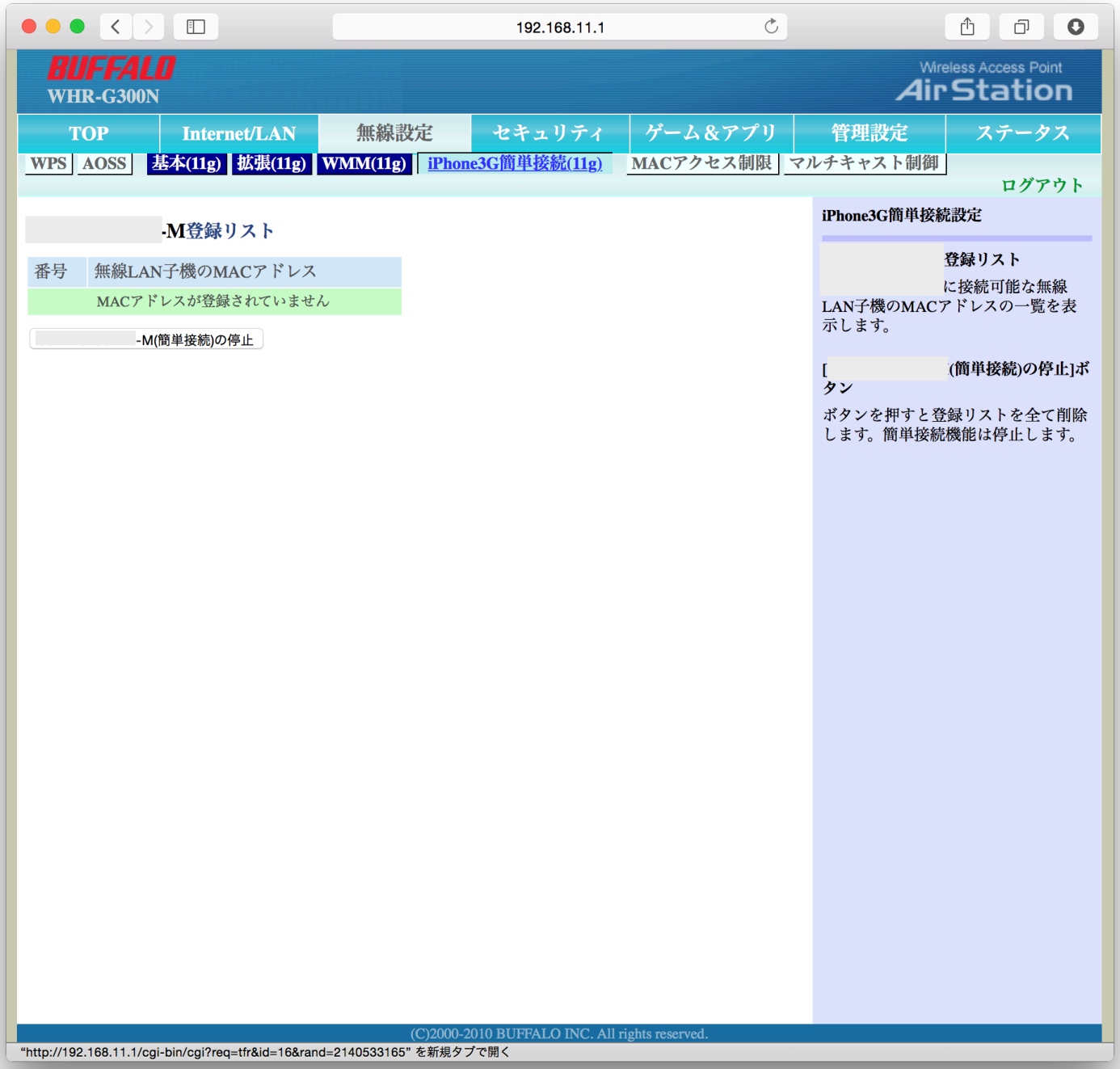
AOSSの使い方

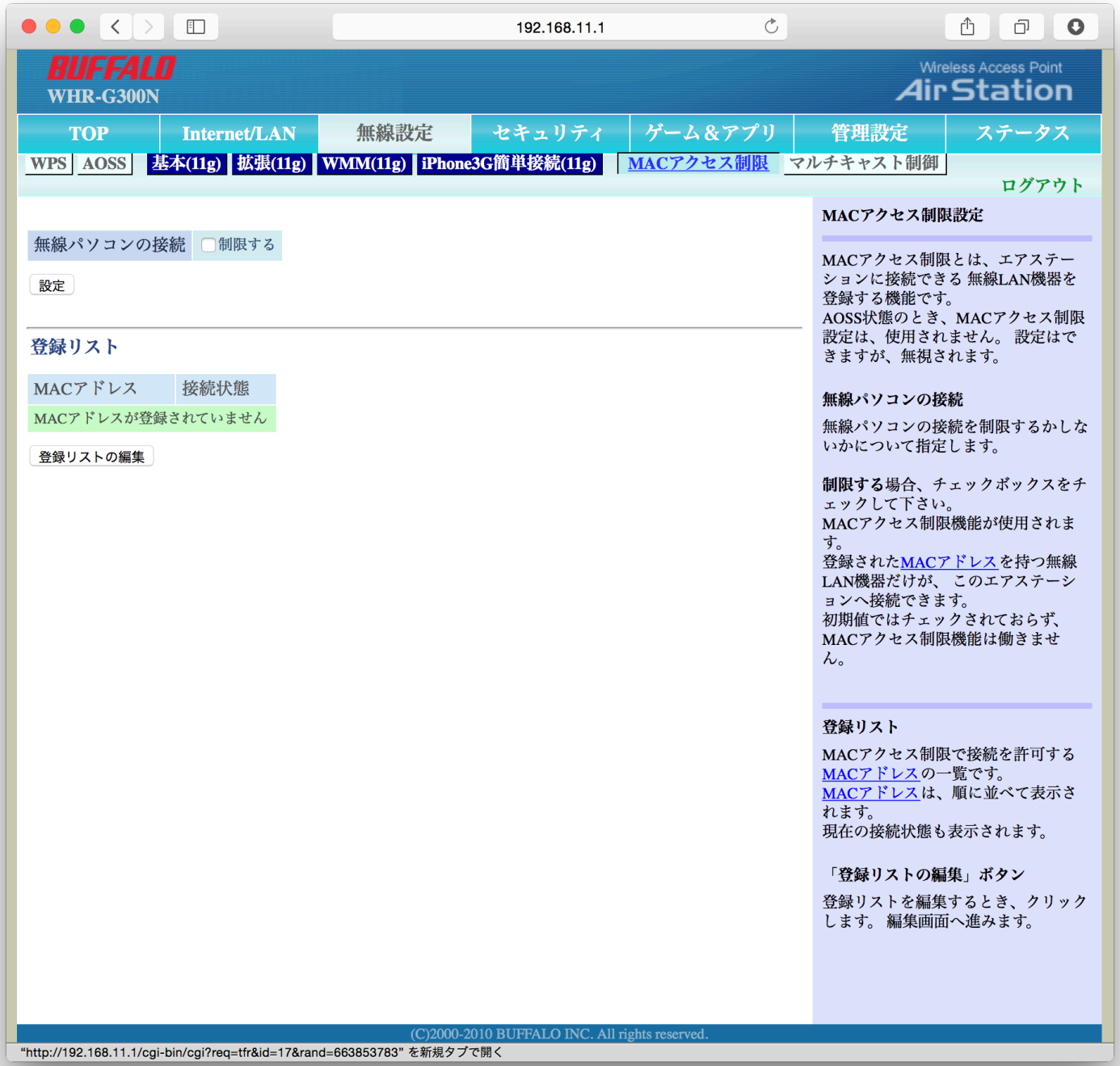
AOSSの使い方は、以下のようになります。
(1)装置の用意
エアステーションと接続する AOSS対応の無線LAN装置を用意してか

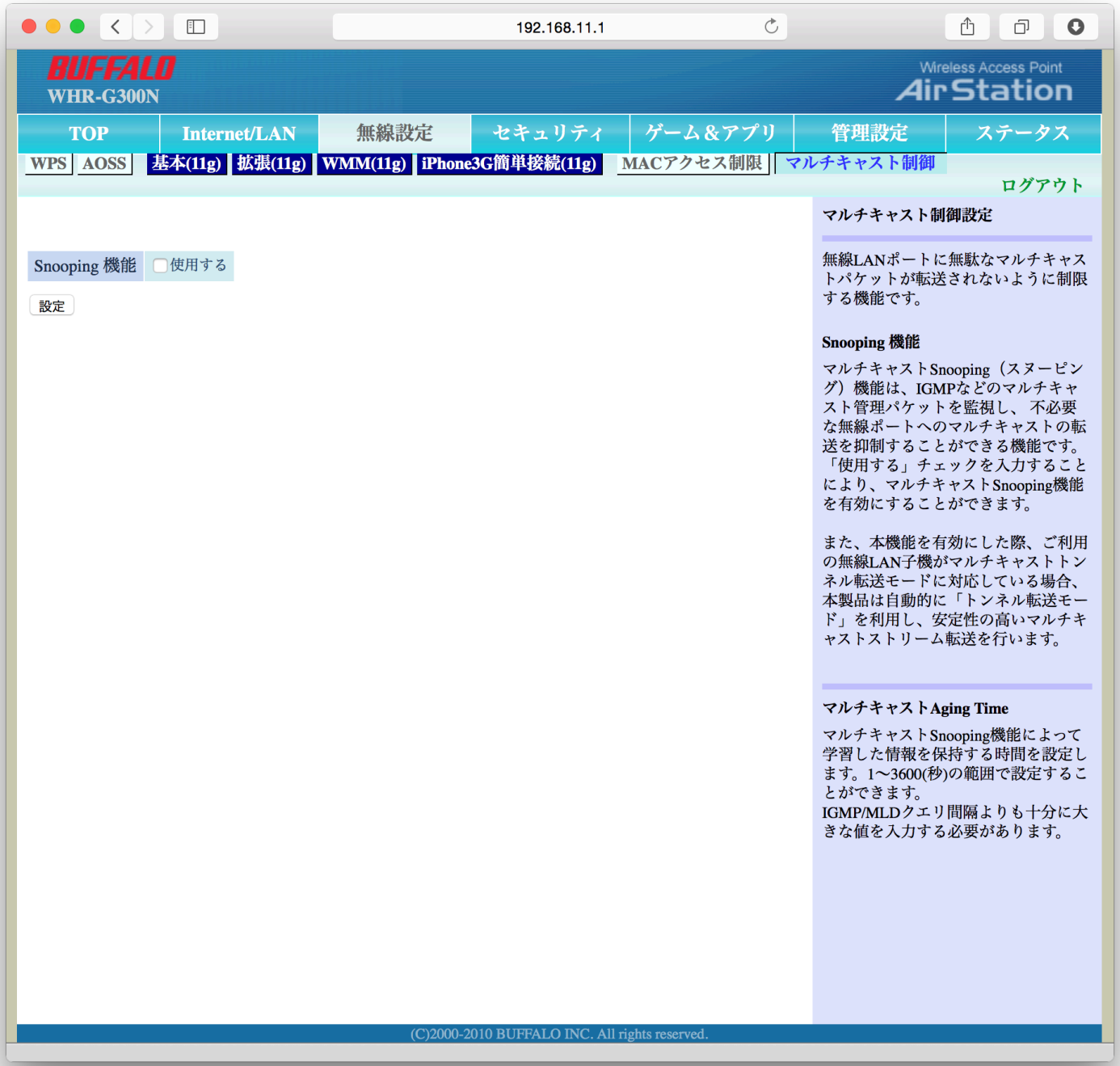
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム&アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
無線機能
使用する
無線チャンネル
自動
(現在のチャンネル: 1)
倍速モード
帯域：
20 MHz
拡張チャンネル：
1
ANY接続
許可する
マルチセキュリティを使用する
隔離機能
使用する
SSID
エアステーションのMACアドレスを設定(
)
値を入力：
無線の認証
WPA2-PSK
無線の暗号化
AES
WPA-PSK(事前共有キー)
Key更新間隔
60
分
設定
無線基本設定 (11g)
無線LANの基本情報を手動設定できます。
通信の暗号化を行わなければ、この基本設定だけで接続が行えますが、セキュリティを確保するために、暗号化を有効にしての 使用をおすすめします。
無線機能
無線LAN機能を使用するかしないかについて指定します。無線機能を無効にすると、 ビーコンなどを含む全ての無線通信を停止します。
初期値は「使用する」です。
無線チャンネル
無線で使用するチャンネル(周波数帯)を指定します。
近い周波数を使用する無線機器が周囲にある場合、 通信に影響を与える場合がありますので、 チャンネルを変更してみてください。
使用できるチャンネルは、無線規格によって異なります。
「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に空いているチャンネルを使用します。
11g : 自動, 1から13チャンネル (初期値 : 自動)
倍速モード
無線通信は 1 チャンネルあたり 20MHzの帯域を使用しています。
倍速モードは40MHzの帯域を使用し、通信速度を高速化します。
倍速モード使用時、倍速モードに対応した無線LAN子機側の無線チャンネルの表示が、 APに設定した無線
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.

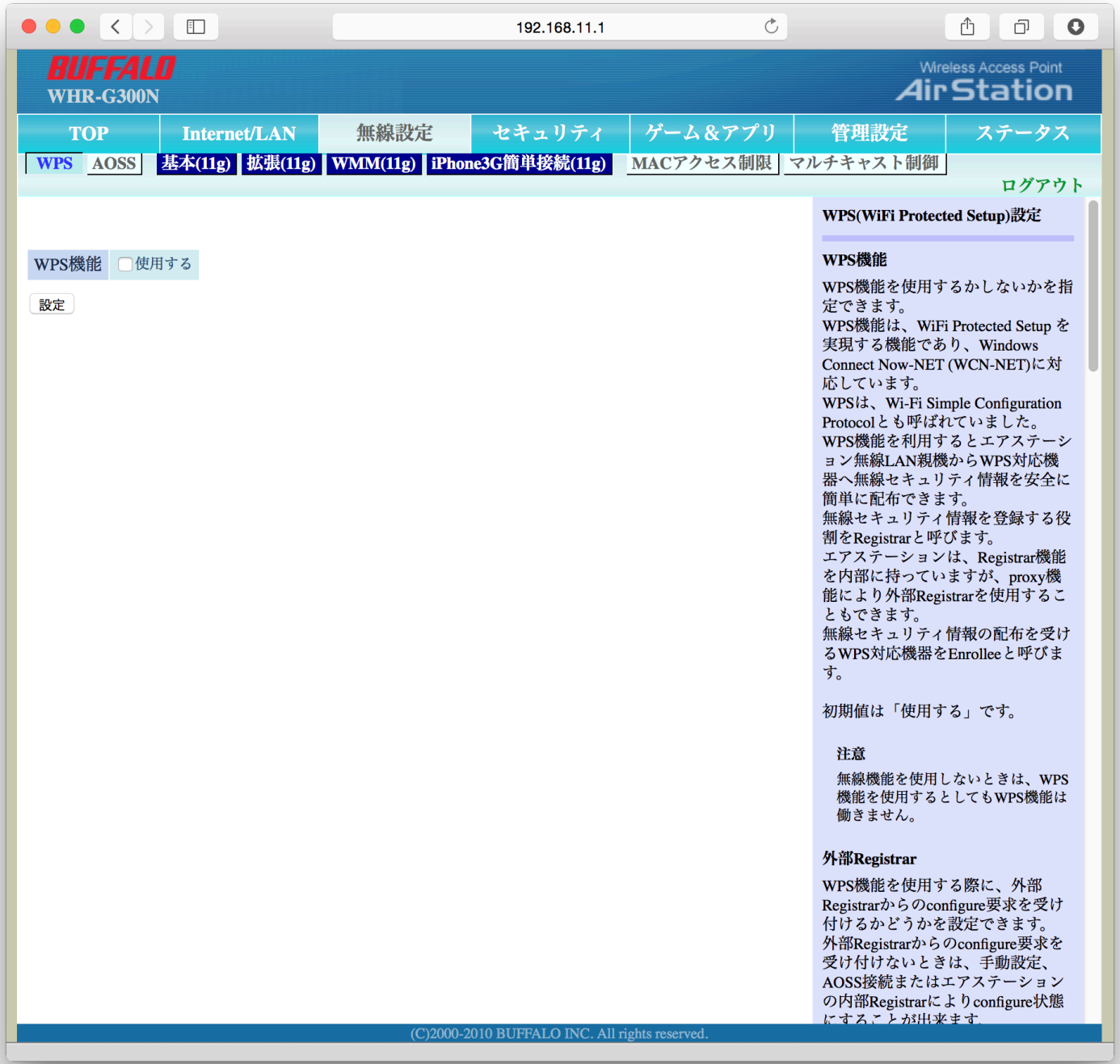

192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
BSS BasicRateSet
1,2,5.5,11 Mbps
Multicast Rate
自動
Reverse Direction Grant
使用する
DTIM Period
1
プライバシーセパレータ
使用する
送信出力
100 %
設定
無線拡張設定
無線機能の拡張設定を行います。
BSS BasicRateSet
BSS は、(Basic Service Set) の略語で、エアステーションと 無線LAN機器の制御通信フレームの通信速度の設定を行います。
無線LANの規格により設定できる項目が異なります。
Multicast Rate
マルチキャストパケットの通信速度を制御することができます。
この値を上げることで、マルチキャストの通信速度を上げることができます。
自動、もしくは 1, 2, 5.5, 6, 9, 11, 12, 18, 24, 36, 48, 54Mbps のいずれかを選択します。
初期値は、「自動」です。
Reverse Direction Grant
Reverse Direction Grant(RDG)機能を使用する／しないを設定します。
RDG機能は、送信パケット送信期間中に応答パケット受信を可能にすることにより高速化します。
エアステーションに接続する無線LAN機器のRDG機能も有効にしていなければ効果がありません。
初期値は「使用する」です。
DTIM Period
DTIMは、(Delivery Traffic Identification Maps)の略語で、 無線LAN機器がビーコンから情報を取得
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
-M登録リスト
番号
無線LAN子機のMACアドレス
MACアドレスが登録されていません
-M(簡単接続)の停止
iPhone3G簡単接続設定
登録リスト
に接続可能な無線LAN子機のMACアドレスの一覧を表示します。
(簡単接続)の停止]ボタン
ボタンを押すと登録リストを全て削除します。簡単接続機能は停止します。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=16&rand=2140533165” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
無線パソコンの接続
制限する
設定
登録リスト
MACアドレス
接続状態
MACアドレスが登録されていません
登録リストの編集
MACアクセス制限設定
MACアクセス制限とは、エアステーションに接続できる 無線LAN機器を登録する機能です。
AOSS状態のとき、MACアクセス制限設定は、使用されません。 設定はできますが、無視されます。
無線パソコンの接続
無線パソコンの接続を制限するかしないかについて指定します。
制限する場合、チェックボックスをチェックして下さい。
MACアクセス制限機能が使用されます。
登録されたMACアドレスを持つ無線LAN機器だけが、 このエアステーションへ接続できます。
初期値ではチェックされておらず、MACアクセス制限機能は働きません。
登録リスト
MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧です。
MACアドレスは、順に並べて表示されます。
現在の接続状態も表示されます。
「登録リストの編集」ボタン
登録リストを編集するとき、クリックします。 編集画面へ進みます。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=17&rand=663853783” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
Snooping 機能
使用する
設定
マルチキャスト制御設定
無線LANポートに無駄なマルチキャストパケットが転送されないように制限する機能です。
Snooping 機能
マルチキャストSnooping（スヌーピング）機能は、IGMPなどのマルチキャスト管理パケットを監視し、 不必要な無線ポートへのマルチキャストの転送を抑制することができる機能です。「使用する」チェックを入力することにより、マルチキャストSnooping機能を有効にすることができます。
また、本機能を有効にした際、ご利用の無線LAN子機がマルチキャストトンネル転送モードに対応している場合、本製品は自動的に「トンネル転送モード」を利用し、安定性の高いマルチキャストストリーム転送を行います。
マルチキャストAging Time
マルチキャストSnooping機能によって学習した情報を保持する時間を設定します。1〜3600(秒)の範囲で設定することができます。
IGMP/MLDクエリ間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
通常は設定を変更しないでください
WMM-EDCAパラメータ
優先度
パラメータ
AP用
STA用
AC_BK(低い)
CWmin: 15 15
CWmax: 1023 1023
AIFSN: 7 7
TXOP Limit: 0 0
Admission Control: ---- 無効
AC_BE(通常)
CWmin: 15 15
CWmax: 63 1023
AIFSN: 3 3
TXOP Limit: 0 0
Admission Control: ---- 無効
AC_VI(優先)
CWmin: 7 7
CWmax: 15 15
AIFSN: 1 2
TXOP Limit: 94 94
Admission Control: ---- 無効
AC_VO(最優先)
CWmin: 3 3
CWmax: 7 7
AIFSN: 1 2
TXOP Limit: 47 47
Admission Control: ---- 無効
WMM設定 (11g)
エアステーションがおこなう通信で、特定の通信にのみ優先順位を付けます。 この設定は、リアルタイム性が要求される通信(VOIPなどの各種ストリーム通信)で、 他の通信からの影響を受けにくくすることができます。
WMM-EDCAパラメータ
一般的な使い方では、この値を変更する必要はありません。
優先度
優先度は、通信パケット毎に適用され、(Highest) 8 ：(High) 4 ：(Normal) 2 ：(Low) 1 の割合で優先的に処理されます。
パラメータ
CWmin, CWmax
コンテンション・ウィンドウの最大値・最小値です。コンテンション・ウィンドウはIEEE802.11で行うフレーム衝突回避機構で使用され、一般にウィンドウ内の値が小さくなるほど、そのキューが送信権を得る確率が高くなります。
AIFSN
フレーム送信間隔です。単位はスロット(CWmin, CWmaxで定義されるウィンドウ値と同様)です。フレーム送信間隔が小さいほど、バックオフアルゴリズムの開始時間が早まるため、結果としてキューの優先度が高くなります。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.
“http://192.168.11.1/cgi-bin/cgi?req=tfr&id=15&rand=1902910298” を新規タブで開く


192.168.11.1
BUFFALO
WHR-G300N
Wireless Access Point
AirStation
TOP
Internet/LAN
無線設定
セキュリティ
ゲーム＆アプリ
管理設定
ステータス
WPS
AOSS
基本(11g)
拡張(11g)
WMM(11g)
iPhone3G簡単接続(11g)
MACアクセス制限
マルチキャスト制御
ログアウト
WPS機能
使用する
設定
WPS(WiFi Protected Setup)設定
WPS機能
WPS機能を使用するかしないかを指定できます。
WPS機能は、WiFi Protected Setup を実現する機能であり、Windows Connect Now-NET (WCN-NET)に対応しています。
WPSは、Wi-Fi Simple Configuration Protocolとも呼ばれていました。
WPS機能を利用するとエアステーション無線LAN親機からWPS対応機器へ無線セキュリティ情報を安全に簡単に配布できます。
無線セキュリティ情報を登録する役割をRegistrarと呼びます。
エアステーションは、Registrar機能を内部に持っていますが、proxy機能により外部Registrarを使用することもできます。
無線セキュリティ情報の配布を受けるWPS対応機器をEnrolleeと呼びます。
初期値は「使用する」です。
注意
無線機能を使用しないときは、WPS機能を使用するとしてもWPS機能は働きません。
外部Registrar
WPS機能を使用する際に、外部Registrarからのconfigure要求を受け付けるかどうかを設定できます。
外部Registrarからのconfigure要求を受け付けないときは、手動設定、AOSS接続またはエアステーションの内部Registrarによりconfigure状態にすることが出来ます。
(C)2000-2010 BUFFALO INC. All rights reserved.